事務事業名	社会	会教育事	構想 生涯を通じて学び・育つ						事業コード	10050105101
所管部署	生涯	重学習 /	スポー	·ツ課		電話	50-3162		記入者名	村中 秀也
事業対象	坂扌	并市市民全体								
60 A =1 -	基本	卜構想	生涯	[を通じて∮	学び・育つまちづく	IJ			事業区分	自治事務 (任意的なもの)
総合計画	基本	直信/	社会	教育・生涯教育の充実					事業種別	ソフト事業
実施主体	市			実施手段	市が直接実施	į	委託内容			
根拠法令	有	社会教	育法							
根拠例規	無									
関連計画・ マニュアル	無									
	習事	業として	小規札	草な事業や、	生涯学習全体を補助的	に支持	まする事業です		•	

事業の目的・事業の概要等

・新しい知識と教養を身につける機会を広く市民に提供し生活の中により高い文化を創造することを目的として生涯学習講演会、成人大学講座、大学開放講座を開講する。 ・坂井市の生涯学習・スポーツの冊子を作成し、今後の生涯学習・スポーツ事業を展開する上での資料とする。

3	7算		款	教育費					項	社会教	育費	}			目	社会教育	総務費			
						平瓦	25年	度		<u> </u>	·成24	4年度		平成	23年度			平成	22年度	
			報酬	Н				510 + 1	7			510 T	円			千円				千円
		. [委詞	£費				486 ∓1	9	千円			円	千円			千円			千円
		事業費	需月	用費	31 千円		7	30 千円			円	千円						千円		
1.	,	費	役科	务費	千円		ŋ	千円			千円						千円			
7	۲		その	D他	265 千円		ŋ	148 千円			千円						千円			
	` [_	事詞	美費合計				1, 292 ∓।	7			688 ∓	円			千円				千円
事 業		人	正理	戦員	(0.63 人		4, 479 + 1	ŋ	0.04	人	284 ∓	円	人		千円		人		千円
カコ		件費	臨	寺職員	(0.33 人		677 + 1	ŋ	0.00	人	Ŧ	円	人		千円		人		千円
【事業のコスト】		賀	人作	‡費合計	(0.96 人		5, 156 ∓1	ŋ	0.04	人	284 ₹	円	人		千円		人		千円
_		総事	総事業費					6, 448 ∓1	ŋ			972 1	円			千円				千円
			国	是支出金				ŦI	円			Ŧ	円	千円						千円
		特定財源	使月]料·手数料				ŦI	円			Ŧ	円			千円				千円
=	事 美 豊	嚴	分担	金·負担金				ŦI	ŋ			Ŧ	円			千円				千円
ラマ	事	源	地力	请				ŦI	ŋ			Ŧ	円	千円		千円				千円
1	Ĺ		その	D他)他 =		ŦI	9	千円		円	千円					千円			
		一般	一般財源		6, 448 千円		7	972 千円			千円						千円			
		財源	合記	t T				6, 448 ∓1	7			972 1	円			千円				千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	年度
	成生涯学習・スポーツ報告書作成		目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
	成 生涯学習・スポーツ報告書作成 果	回	実績値	1	100	1	100	1	100	1	
I			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
٦,			実績値								
「真美の伐長」			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
Ć			実績値								
Ę			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値			·					

	すぐにできる 改善提案	坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況を常に確認していきます。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めていきます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
	判理 断由	受講生のニーズに	沿った成人力	r学として継続していく。生涯学習・スポーツ事業のまとめとして冊子の充実をはかります。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
	判理 断由	成人大学は運営委	員長の意見を	r尊重しながら運営していきます。 -			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
所	判理 断由	受講料による運営	のため、身边	丘な講師が主体となる。			
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現在の事業規模を	維持していき	est o .			
	すぐに	できる改善提案	坂井市教育	振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認していきます。			
	目標年	度 平成26 年度					
		的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合	計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。			
	目標年	度 平成27 年度					

事務事業名	社会	会教育区	日体補	助事業					事業コード	10050105106		
 所管部署	生》	医学習 ス	ヽポー	 ·ツ課		電記	₹ 50-3162		記入者名			
事業対象								17 • 20	団、日本ボーィ	(スカウト福井連盟坂井第5・6団、坂		
	基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり					IJ			事業区分	自治事務(任意的なもの)		
総合計画	基本	本計画	社会	教育・生涯	≣教育の充実				事業種別	補助金事業(団体)		
実施主体	市			実施手段	市が直接実施		委託内容	- 				
根拠法令	有	地方自治	台法									
根拠例規	有	坂井市補	助金等	交付規則、坂井市	5教育委員会生涯学習スポーツ	/課所管	補助金等交付要	綱				
関連計画・ マニュアル	無											
	フルー - L会教育団体の活動・運営を支援するとともに、組織の育成を行い、社会教育の推進を図っています。											
社会	社会教育団体に対し補助金を交付し、活動の支援・指導・育成を行います。											

2,306千円 250千円 140千円 140千円 30千円 1,396千円 350千円

○補助及び交付金 ・PTA連合会事業補助金 ・ガールスカウト育成団体運営補助金 ・ボーイスカウト育成団体運営補助金 ・三国海洋少年団育成団体運営補助金 ・女性の会運営補助金 ・かるた協会事業補助金 ※決算見込額を記載しています。

事業の目的

予算	Į	款 教育費			項	社会教育費			目	社会教育	総務費		
		·	平成2	5年度		平成24	4年度	平成	23年度		平成	22年度	
1		報酬		千円			千円			千円			千円
1		委託費		千円			千円					千円	
1	事業費	需用費		千円			千円					千円	
	費	役務費		千円			千円					千円	
コス・		その他		2, 306 千円			2,669 千円			千円			千円
, ト		事業費合計		2, 306 千円			2, 669 千円			千円			千円
	人	正職員	0.59 人	4, 194 千円		0.21 人	1,493 千円	人		千円	人		千円
1	件 費	臨時職員	0.00 人	千円		0.00 人	千円	人		千円	人		千円
		人件費合計	0.59 人	4, 194 千円		0.21 人	1,493 千円	人		千円	人		千円
1	総事	事業費	6,500 千円				千円					千円	
1		国県支出金		千円			千円			千円			千円
1	特	使用料·手数料		千円			千円			千円			千円
事業	特定財源	分担金·負担金		千円			千円			千円			千円
事業費	源	地方債		千円			千円			千円			千円
		その他		千円			千円			千円			千円
	— 彤	段財源		6, 500 千円			千円					千円	
	財源合計			6, 500 千円			4, 162 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
成	事業費補助率 ※実績報告書受領後に算出	%	目標値	33. 3	達成率	33. 3	達成率	33. 3	達成率	33. 3	達成率
果	※実績報告書受領後に算出	70	実績値			73. 5	220. 72	41.9	125. 83	57. 4	172. 37
活	1人当たり自己負担金	円	目標値	10, 000	達成率	10, 000	達成率	10, 000	達成率	10, 000	達成率
活動		1,	実績値			11, 111	111. 11	7242	72. 42	6015	60. 15
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値							·	

	すぐにできる 改善提案	補助金の見直しについては、すでに終了しており、年次的に進めていきたいと考えます。また坂井市教育振興基本計画の実現に向けて、進捗状況を常に確認していきま す。
【 前 年	目標年度 平成25 年度	
年度改善案に	取組状況	補助金交付手続において、活動実態の聞き取りや、交付額の調整などを適正に行っています。補助金交付要綱の期限が切れる団体について、団体ヒアリング等を行いなが ら、見直し手続きを進めました。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	各団体との対話を重ね、中長期的な活動成果達成に向けた地道な取り組み(聞き取り、財政支援、改善提案など)を進めています。

l	[事務の効率化] 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力 (民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
L	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっています か?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
有效性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
Γ	[市民のニーズ] 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	/
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	

		******	4	- a + + /ss /+ 1 + +	口無左去	T-07	******
		事業の方向性		このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
ı	判理 断由	補助が必要と認め	る社会教育団	14体の活動であり、継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	運営が適正と判断	される社会教	育団体に補助していきます。			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理 断由	補助対象事業のみ	の助成としま	₹ す。			
長		人員投入の方[句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	事業の変動がない	ことから現れ	だを維持していきます。			
	すぐに	できる改善提案	坂井市教育	振興基本計画の実現に向けて進捗状況を確認していきます。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合	計画との整合性を取りながら、坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。			
	目標年	度 平成29 年度					

事務事業名 市民運動推進事業 事業コード 10050115101								10050115101			
所管	部署	生涯	[学習ス	、ポー	ツ課		電訊	50-3162		記入者名	齋藤 利香
事業	対象	坂井	市民選	動推	進協議会会	:員・坂井市民運動 (に賛同	司する一般	市民		
40. 4	- :	基本構想 生涯を通じて学び・育つまち				ዸび・育つまちづく	IJ			事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	·計画	基本	計画	画 社会教育・生涯教育の充実						事業種別	ソフト事業
実施	主体	市			実施手段	市が直接実施		委託内容			
根拠	法令	無	無 無								
根拠	例規	無									
	計画・ ·ュアル	無									
	市民自	らの創	創意によ	る様々	てな実践活動	を通して、市民憲章に	根ざり	した活力ある	住みよし	いふるさとづくり)の推進を図る。
	市民運める花	動の優良実践者を表彰するとともに、子どもから大人まで気軽に取り組 壇作りを推進し、花壇コンクールを行う。									
事業の目的	〇需 〇役 〇負	用費 務費 担金	(花壇用 (郵便料	種子作 、筆表	せ、会議賄)	181- 8 T 317-	円	I			

予算	Į	款 教育費			項 社会教育	ŧ		目 社会教育	総務費	
			平成2	5年度	平成2	24年度	平成	23年度	平成	22年度
		報酬		千円		千円		千円		千円
		委託費		千円		千円		千円		千円
	事業費	需用費		187 千円		179 千円		千円		千円
	費	役務費		2 千円		14 千円		千円		千円
コス・		その他		275 ∓⊞		406 千円		千円		千円
-		事業費合計		464 千円		599 千円		千円		千円
基	人	正職員	0.17 人	1,209 千円	0.80 人	5,687 千円	人	千円	,	千円
「事業のコスト」	件 費	臨時職員	0. 25 人	513 千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
ス ト	賀	人件費合計	0.42 人	1,722 千円	0.80 人	5,687 千円	人	千円	,	千円
-	総事	業費		2, 186 千円		6, 286 千円		千円		千円
		国県支出金		千円		千円		千円		千円
	特定財源	使用料·手数料		千円		千円		千円		千円
事 業 費	上財	分担金·負担金		千円		千円		千円		千円
書	源	地方債		千円		千円		千円		千円
^		その他		145 千円		145 ∓⊞		千円	千円	
	一般	段財源		2, 041 千円		6, 141 千円		千円		千円
	財源	原合計	2, 186 千円			6, 286 千円		千円		千円

Г	指標名	単位	年度	平成2	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
成	ふるさとづくり大会参加者数	1	目標値	300	達成率	300	達成率	300	達成率	300	達成率
果		_ ^	実績値	185	61.67	230	76. 67	116	38. 67	582	
活	市民運動被表彰者数	٨	目標値	15	達成率	15	達成率	15	達成率	15	達成率
動		^	実績値	11	73. 33	11	73. 33	12	80	16	
活	花壇コンクール参加団体数	団体	目標値	65	達成率	65	達成率	65	達成率	65	達成率
		凹冲	実績値	48	73. 85	55	84. 62	53	81. 54	68	
	花の種配布地区団体数	団体	目標値	180	達成率	170	達成率	200	達成率	200	達成率
動		四件	実績値	102	56. 67	128	75. 29	133	66. 5	170	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	地域において進める事業については、地域に移管できるようにしていきたいと考えています。また、坂井市教育振興基本計画に基づき、着実に遂行していきます。
前	目標年度 平成27 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合計画との整合性、教育基本計画の実現に努めます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
1	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
	有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		± 414 o + + 1	d		- III	- 1.00	
		事業の方向性	Ξ	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
	判理 断由	坂井市民憲章を広	く市民に知ら	らしめるため、さらに推進していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
	判理 断由	坂井市民憲章を広	く市民に知ら	らしめるため、さらに推進していきます。			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
T T	判理 断由	現在の事業を推進	します。				
長		人員投入の方[句性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
「所属長平面」	判理 断由	現在の事業を推進	します。				
	すぐに	できる改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき遂行していきます。			
I	目標年	度 平成26 年度					
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合	計画との整合性を取り、坂井市教育振興基本計画の実現に向け取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					

事務	事業名	公瓦	民館維持	宇管理	事業					事業コード	10050200101
所管	部署	生涯	王学習 ス	、ポー	ツ課		電話	50-3162		記入者名	村中 秀也
事業	事業対象地域及び一般市民										
		基本	構想	生涯	を通じて学	学び・育つまちづくり	< b			事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	`計画	基本計画 社会教育・生涯教育の充実				- - - - - - - - - - - - - - - - - - -				事業種別	施設管理事業
実施	実施主体 市 実施手段 7				市が直接実施	ą.	委託内容				
根拠	l法令	有	社会教育	 手法							
根拠	L 例規	有	坂井市公	民館条例	āJ						
関連マニ	計画・	無									
	地域住	民に最	- 侵も身近	な学習	┇の場であり、	、地域住民の交流の場で	である	公民館施設	との適正な	- 。維持管理と運営	の充実を図る。
地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の適正な維持管理と運営の充実を図る。 全館に関わる報酬や賃金のほか、統一的に行う委託業務や修繕は本庁において実施し、各館ではその他の維持管理を行う。 ◆本庁事業費								3の維持管理を行う。			

・事業の概要等

◆各公民館事業費 市内26 (本館23、分館3) 公民館維持管理費 ○需用費、委託料他 74,075千円

予	算	寺	款	教育費					項	社会教	育費				目	公民館費				
						平瓦	¢25₫	丰度		ㅋ	成24	年度		平成2	23年度		3	平成	22年度	
			幡蜂					41, 400 ∓F	9			41, 400 千円				千円			千円	
	١.	. [委託	費				32, 899 ∓⊩	9	32, 206 千円			千円						千円	
	듹	事業費	需用	費				62, 014 + F	9	44, 900 千円			千円			千円				千円
_	す	費	役務	費				5, 143 ∓⊩	7	5, 426 千円			千円			千円				千円
コス・	人	その	他				20, 308 ∓1	7	10, 878 千円						千円				千円	
- F			事業	費合計				161, 764 + 1	7			134,810 千円				千円				千円
事 業		人	正職	員		1.27 人		9,028 ∓⊩	7	1. 33	人	9,455 千円		人		千円		人		千円
カコ	佳	件費	臨時	職員		0.00 人	_	Ŧſ	9	0.00	人	千円		人		千円		人		千円
「事業のコスト」	3	貫	人件	費合計		1.27 人		9,028 ∓	7	1. 33	人	9,455 千円		人		千円		人		千円
_	絲	総事	事業費			170, 792 千円			9	144, 265 千円			千円						千円	
			国県	支出金				216 ∓⊩	9	216 千円			千円						千円	
	り	寺定	使用:	料·手数料				9, 686 ∓1	9			9, 125 千円				千円				千円
事業費	Į.	E H	分担:	金·負担金				Ŧſ	9			千円				千円				千円
書	Ĵ	原	地方	債				Ŧſ	9			千円				千円				千円
^			その	他				1, 900 ∓⊩	9			2,040 千円	千円			千円				千円
	— 舟	一般	財源		158, 990 千円		9	132,884 千円			千円			F円 千		千円				
	郥	才源	才源合計					170, 792 ∓ F	7			144, 265 千円				千円				千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	l年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成 公民館年間利用者数	件	目標値	410000	達成率	400000	達成率	394000	達成率	367000	達成率
	成 公民館年間利用者数 果	1+	実績値	416304	101. 54	400176	100.04			375380	102. 28
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
【事業の成果】			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
カサ			実績値								
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値						·		

	すぐにできる 改善提案	坂井市公共施設マネジメント白書、坂井市教育振興基本計画の実現に向け、適正に推進します。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	安全性を優先して順次取り組んでいる。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合計画との整合性をとりながら、教育振興基本計画の実現に努めます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	H26年度に耐震診断を行い、H27年度に改修計画を、H28年度以降から順次改修する計画である。

Г	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	[事業の成果] 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向	生	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	公民館からコミュ	ニティセング	。 への移行に向け検討していきます。			
		実施主体の方向	句性	市の関与を拡大します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	公民館からコミュ	ニティセング	マーへの移行に向け検討していきます。			
		コスト投入の方向	1性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安
所	判理 断由	施設の耐震診断を	行い、その約	計果に基づき施設の整備計画を立てます。			
属 長		人員投入の方[向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現在の事業を推進	していきます	r.			
	すぐに	てできる改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき、推進します。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合	計画と坂井市教育振興計画との整合性を取りながら推進します。			
	目標年	度 平成27 年度					

事務	事務事業名 公民館運営事業							事業コード	10050205101			
所管	所管部署 生涯学習スポーツ課 電話 50-3162							記入者名	村中 秀也			
事業	対象	地域住民										
40. 4		基本	構想	生涯	を通じて学	ዸび・育つまちづく	IJ			事業区分	自治事務(義務的なもの)	
総合	計画	基本	画信	社会	教育・生涯	E教育の充実				事業種別 ソフト事業		
実施	実施主体 市 実施手段 市が直接実施 委託内容											
根拠	╚法令	有	社会教育	育法								
根拠	L 例規	無	坂井市公	民館条例	列							
	計画・	無										
事業の目的・事業の概要等	公 ◆ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	講事賞 民 6 賞要务 氏 第 章 費	の開設や 費 公民館買 事業費	公民館 计	官まつりの開 修講師謝礼) 公民館運営		でき:	る生涯字習の均)、地域の活性化	5を図る。	

予算	Į	款	教育費			項	社会教育	ŧ		目	公民館費			
				平成	25年度		平成2	24年度	平成	23年度		平成	22年度	
		報	大画州		千円	9		千円			千円			千円
		委	託費	220 ∓₽		9		220 千円			千円	Ŧ		千円
	事業費	需	用費	2, 456 千円		9				千円			千円	
_	費	役	務費	259 ∓円		9	257 千円		千円				千円	
コス・		そ	·の他		3, 375 + ₽	9		千円					千円	
۲		事	業費合計		6, 310 ∓₽	9		6, 380 千円			千円			千円
	人	正	職員	0.93 人	6,611 ∓P	9	1.00 人	7, 109 千円	人		千円	人		千円
	件	踮	時職員	0.00 人	f P	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	費	人	.件費合計	0.93 人	6,611 ∓P	9	1.00 人	7, 109 千円	人		千円	人		千円
	総事	事業	費		12, 921 ↑ ₽	9		13, 489 千円			千円			千円
		玉	県支出金		1 P	9		千円					千円	
	特	使	用料·手数料		1 F	9		千円			千円			千円
事	正財	分	担金·負担金		 ∓P	9		千円			千円			千円
事業費	特定財源	地	方債	<u>'</u>	千円	9		千円			千円			千円
~		そ	·の他		2, 016 ∓₽	9		2, 233 千円			千円			千円
	— 舟	设財	源	·	10, 905 ∓₽	9	11, 256 ∓⊞		千円				千円	
	財派	原合	計		12, 921 ∓₽	9		13, 489 千円			千円			千円

	指標名	単位 年度 平成25年度				平成24	4年度	平成23	3年度	平成22年度	
ı	な民館講座(定期講座・短期)開催件数		目標値	150	達成率	150	達成率	150	達成率	150	達成率
	成 公民館講座(定期講座・短期)開催件数 果	件	実績値	125	83. 33	141	94	158	105. 33	151	100.67
	活 公民館利用団体登録者数	件	目標値	550	達成率	550	達成率	550	達成率	550	達成率
<u>_</u>	活 公民館利用団体登録者数 動	П	実績値	544	98. 91	510	92. 73	494	89. 82	542	98. 55
【事業の成果】	活 定期講座・短期講座受講者数	件	目標値	10000	達成率	10000	達成率	10000	達成率	10000	達成率
の	活 定期講座・短期講座受講者数 動	1+	実績値	7284	72. 84	8204	82. 04	9196	91.96	8875	88. 75
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	坂井市教育振興基本計画書の実現に向け、進捗状況を確認していきます。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市総合計画との整合性を図りながら坂井市教育振興基本計画の実現に努めます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	

		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
【担当者評価】		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
価	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	

		古类の士白	4	- のナナ伽体 レナナ	目標年度	17.11 07	左座七日空			
		事業の方向性		このまま継続します。	日信干戌	平成27	年度を目安			
	判理 断由	社会教育の字習、	発表の場とし	て継続していきます。						
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安			
	判理 断由	坂井市教育振興基	本計画に基っ	づき実施していきます。						
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安			
所	判理 断由	現在の事業を継続	していきます							
馬 長		人員投入の方[句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安			
【所属長評価】	判理 断由	現在の職員体制で	維持していき	est of a contract of the contr						
	すぐに	できる改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき、実施していきます。						
ı	目標年	度 平成27 年度								
ı	中長期	的に取り組むべき	坂井市総合計画と坂井市教育振興基本計画の整合性を図り、取り組んでいきます。							
		改善提案								
	目標年	度 平成27 年度								

事務	事業名	公氏	記館施設	と 整備	事業				事業コード	10050215101
所管	部署	生涯	[学習ス	ヽポー	·ツ課		電話	50-3162	記入者名	宇野 正昭
事業	対象	一般市民及び利用者								
40. 4	- :	基本	構想	生涯	[を通じて∮	学び・育つまちづく	IJ		事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	·計画	基本	計画	社会	き教育・生涯	重教育の充実			事業種別	ハード事業
実施	主体	市			実施手段 市が直接実施 委託内容					
根拠	法令	有	社会教	育法						
根拠	例規	有	坂井市公	民館条件	列					
	連計画・ 有 市総合振興計画、教育振興基本計画、JR春江駅周辺整備基本計画など									
	地域住民に最も身近な学習の場であり、地域住民の交流の場である公民館施設の整備を図る。									

老朽化が進み、耐震基準を満たしていない春江中公民館の建替えをおこない、地域住民に利用しやすい、社会教育や生涯学習の拠点づくりを行う事業 ※H25春江中公民館建替基本計画策定業務委託料1,785,000円

予	算	į	款	教育費				項	社会教	育費			目	公民館費			
						平成	25年度		平	成244	年度	平原	23年度		平月	22年度	
			極姆				Ŧ	7			千円			千円			千円
		. [委託	費	1, 785 千円		7	千円					千円			千円	
	1	事業	需用	費	千円		7	千円		千円				千円			
	1	事業費	役務	費			Ŧ	7)	千円		千円				千円		
コス			その	他			Ŧ	7	37, 265 千円		千円				千円		
٦ ٢			事業費合計				1, 785 ∓	7			37, 265 千円			千円			千円
「事業のコスト」		人	正墹	溳	1.	15 人	8, 175 ∓	7)	1.02	人	7, 251 千円	J		千円	J		千円
カー		件費	臨時	職員	0.	00 人	Ŧ	7	0.00	人	千円	J		千円	人		千円
スト		賀	人件	費合計	1.	15 人	8, 175 ∓	7	1.02	人	7, 251 千円	J		千円	人		千円
_	á	総事業費					9, 960 ∓	7			44, 516 千円			千円			千円
			国県	:支出金			Ŧ	7	14, 718 壬円			千円					千円
	1	特定財源	使用	料·手数料			Ŧ	7			千円			千円			千円
事		正財	分担	金·負担金			Ŧ	7			千円			千円			千円
事業費		源	地方	債			Ŧ	7			千円			千円			千円
7			その	他			Ŧ	7			千円			千円			千円
	-	一般	財源			·	9, 960 ∓	7	·		29, 798 千円			千円			千円
	Ę		 財源合計		_		9, 960 ∓	7			44, 516 千円			千円			千円

Г	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成 工事進捗率	%	目標値	0	達成率	50	達成率	50	達成率	0	達成率
	成 工事進捗率 果	90	実績値	0		50	100	50	100	0	
	成基本計画の策定数	計画	目標値	1	達成率		達成率		達成率		達成率
٦L	成 基本計画の策定数 果	пш	実績値	1	100						
「事業の戊果」	活 工事請負額	千円	目標値	0	達成率	41000	達成率	60000	達成率	60000	達成率
D tt	活 工事請負額 動	干円	実績値	0		37000	90. 24	60000	100	60000	
Į.			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
П			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	JR春江駅周辺整備基本計画に基づいた事業進行を行うこと。利用者や地元団体からワークショップを通じて要望を聞き取り、所管課や関係団体と連携をとりながら事業 を進めること。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	J R 春江駅周辺整備基本計画に基づきつつ、利便性の高い公民館を建設するために、同計画の枠にとどまらない活動が求められた。各部署と連携を取りつつ、ワーク ショップを開催し、基本計画の作成にあたった。
に対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	地元要望を取りまとめつつ、限られた財源の中で、利便性の高い公民館となるように工夫を凝らすこと。
取組	目標年度 平成28 年度	
状況】	取組状況	各部署と連携を取りつつ、基本計画の策定に取り組んだ。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
価	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安			
	判理断由	立替基本計画に基	づき、基本語	役計・実施設計を行います。						
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安			
	判理 断由	立替基本計画に基	づき、基本語	设計・実施設計を行います。						
		コスト投入の方向	1性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成26	年度を目安			
所	判理断由	立替基本設計に基	づき、基本記	役計・実施設計を行います。						
馬長		人員投入の方[句性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安			
【所属長評価】	判理 断由	現在の人員により	見在の人員により実施していきます。							
	すぐに	できる改善提案	立替基本計	画に基づき、基本設計・実施設計を行います。						
	目標年	度 平成26 年度								
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	立替基本計	画に基づき、実施設計を行います。						
	目標年	度 平成26 年度								

事務	事業名	国際	於交流 》	能遣事	業					事業コード	10050400106
所管	部署	生涯	を 学習 ス	スポー	·ツ課		電話	50−3162		記入者名	門馬 聡子
事業	対象	市民	₹								
60 A	-1-	基本	構想	地垣	は全体でもて	なすまちづくり				事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	計画	基本	計画	国際	於交流・地 域	杖交流の推進				事業種別	ソフト事業
実施	主体	市		-	実施手段	業務の一部を委託		委託内容	渡航業務		
根拠	l法令	無									
根拠	l例規	無									
	計画・ - ュアル	無									
	代に対	応でる	きる人材	を育り	成する。		L. 7	ホームスティ	(や授業者	参加を通して外 国	目の生活を体験することにより、国際化時
事業の目的・事業の概要等	〇報億 〇旅費 〇無月	者 者期研者 實體 費用 質問	プ坂(5310) 考者修航 210, 季田時業	ス市次(中回00 員当の務ででの)消委での)消委が、 ままま こうしょう おいま しょう しょう ひょう まま まま こう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ	D 中学2 学文文 学文文 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ヘンシブスクール他1 を対象に参加者を募集 次選考 面接) 2人、事務局2人) 、全体研修) L他)	校 し、i 145千 189千 192千 082千 24千	: П :- П :- П :- П	2 5 人の団	団員を決定する 。	

ſ	予算	[]	款	教育費					項	社会教	育費				目	国際交流	推進費			
						平成	25年度			Ŧ	成24年	年度		平成	23年度			平成	22年度	
			報酬	M				千円	ı				千円			千円				千円
			委詞				8,	, 093 千円	ı			8, 281	千円			千円				千円
		事業	需月	用費				186 千円	ı			192	1千円			千円				千円
	_	事業費	役科	务費				千円	ı				千円			千円				千円
	ス		その	D他				317 千円	ı			358	千円			千円				千円
_	١- ا		事詞	業費合計			8,	, 596 千円	1			8, 831	千円			千円				千円
【事業のコスト】		人	正理	餓員	0.	. 55 人	3,	910 千円	ı	0. 55	人	3, 910	千円	人		千円		人		千円
のコ		件費	臨	寺職員	0.	. 00 人		千円	ı	0.00	人		千円	人		千円		人		千円
スト		費	人作	牛費合計	0.	. 55 人	3,	910 千円	ı	0. 55	人	3, 910	千円	人		千円		人		千円
Ľ		総事	事業費				12,	. 506 千円	ı			12, 741	千円			千円				千円
			国	是支出金				千円	1				千円			千円				千円
		特	使月]料·手数料				千円					千円			千円				千円
	事 業 費	特定財源	分担	金·負担金				千円					千円			千円				千円
	耒 書	源	地	5債				千円					千円			千円				千円
	~		その	D他				千円	ı			4, 850	千円			千円				千円
		一般	財源	Į.			12,	, 506 千円	ı			7, 891	千円			千円				千円
		財源	合言	+			12,	, 506 千円	1			12, 741	千円			千円				千円

		指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
	成	参加者の成長度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
	果		90	実績値	100	100	100	100	100	100	100	
	成	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
=	果		/0	実績値	100	100	100	100	100	100	100	
争	活	参加者数	ı	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	25	達成率
の	活 動		^	実績値	25	100	25	100	25		25	
業の成果】	活	事前研修の実施回数	0	目標値	14	達成率	14	達成率	14	達成率	14	達成率
_	動		ы	実績値	14	100	14	100	14	100	13	
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

	すぐにできる 改善提案	受益者負担金を「補助金見直し」同様に、総事業費の2分の1にする方向で検討の余地があります。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	現在の受益者負担金は現在は2分の1よりも若干多いのですが、実際の渡航費用として必要な部分が多く、今後さらに負担率について検討していきます。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育振興基本計画に従い事業を実施していきます。
取組	目標年度 平成29 年度	
状況】	取組状況	坂井市教育振興基本計画に従い、事業を実施しています。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
킐	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	±	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
	判理 断由	国際化の時代、中	学生の英語力	n向上に向け継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
	判理 断由	中学生が対象とな	るため、市か	が主催して実施していきます。			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
所	判理 断由	受益者負担の観点	から妥当と孝	きえます。			
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持してい	きます。				
	すぐに	できる改善提案	受益者負担	の原則により、参加者負担金の見直しも視野に入れながら決定していきます。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組んでいきます。			
	目標年	度 平成29 年度					

事務事業名	子と	ごも会育	成事	業					事業コード	10050500101
所管部署	生涯	手学習 ス	ヽポー	·ツ課		電話	50-3162		記入者名	齋藤 利香
事業対象	業対象 市民(坂井市内の子ども「3歳児から高校3年生」、子ども会育成者・指導者、ジュニアリーダー・シニアリーダー)									
基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり 事業区分 自治事務(任意的なもの)										
総合計画	基本計画 社会教育・生涯教育の充実								事業種別	ソフト事業
実施主体	市		-	実施手段	市が直接実施	ā	委託内容			
根拠法令	無									
根拠例規	有	坂井市教	育委員:	会生涯学習スポー	-ツ課所管補助金等交付要綱、	坂井市	子ども会育成連	絡協議会会	則	
関連計画・ マニュアル	無									
幼少年	期か	ら、家族	や先生	主以外の地域 ダートなる人	の大人と関わる機会を	提供し	、地域に根	ざした様	・ 様々な活動体験を	を通して子どもたちを健やかに育てていく

とともに、青少年のリーダーとなる人材の育成を図ることを目的としています。

「坂井市子ども会育成連絡協議会」を事業主体として、「坂井地区子ども会育成連絡協議会」や「各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブ」と連携・協力し、子ども会活動の支援や組織の育成を図ります。

【坂井市子ども会育成連絡協議会の主な事業】 ・壁新聞コンクール ・ドッジボール大会 ・かるた大会 ・育成者研修会他

【各支部子ども会・各ジュニアリーダーズクラブの主な事業】 ・ソフトボール大会 ・ジュニアリーダー研修会 ・各単位子ども会活動の支援他

目的

○負担金 153千円 ・坂井地区子ども会育成連絡協議負担金 90千円 ・県子連団体会費 63千円 ○補助金 1,984千円 ・坂井市子ども会育成連絡協議会運営補助金

予算	Ξ	款 教育費			項	社会教育	費		目	青少年健	全育成費		
			平成	25年度		平成	24年度	平成	23年度		平成	22年度	
		幸日子		千円	9		千円			千円			千円
		委託費		千円	9		千円			千円			千円
	事業費	需用費		千円	9		千円			千円			千円
_	費	役務費		千円	9		千円			千円			千円
コス		その他		2, 138 ∓₽	9		2, 137 千円			千円			千円
۲		事業費合計		2, 138 ∓₽	9		2, 137 千円			千円			千円
	人	正職員	0.00 人	千円	9	0.65 人	4,621 千円	人		千円	人		千円
	件費	臨時職員	0.00 人	千円	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	賀	人件費合計	0.00 人	千円	9	0.65 人	4,621 千円	人		千円	人		千円
	総事	事業費		2, 138 ∓₽	9		6, 758 千円			千円			千円
		国県支出金		千円	9		千円			千円			千円
	特	使用料·手数料		千円	9		千円			千円			千円
事	特定財源	分担金·負担金		千円	9		千円			千円			千円
事業費	源	地方債		千円	9		千円			千円			千円
~		その他		千円	9		千円			千円			千円
	— 舟	段財源		2, 138 ∓₽	9	·	6, 758 千円		·	千円			千円
	財派	原合計		2, 138 ∓₽	9		6, 758 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	生度
成	子ども会安全会加入率	%	目標値	62	達成率	62	達成率	62	達成率	62	達成率
果		90	実績値	55. 0	88. 71	57. 9	93. 39	57. 6	92. 9	57. 3	92. 42
活	専門部会の開催回数		目標値	4	達成率	4	達成率	4	達成率	4	達成率
動		ы	実績値	2	50	3	75	2	50	4	100
活動活	育成者研修会参加者数	ı	目標値	280	達成率	280	達成率	280	達成率	280	達成率
動		^	実績値	213	76. 07	218	77. 86	182	65	184	65. 71
活	壁新聞コンクール出品数	点	目標値	160	達成率	160	達成率	160	達成率	160	達成率
動	壁新聞コンク一ル出品数	.m.	実績値	136	85	143	89. 38	119	74. 38	136	85
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	子ども会活動の指導者としてのジュニアリーダーの育成に赴きをおき、人員増に努める必要があると思われます。
前	目標年度 平成27 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
に対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき事業を推進していきます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
1	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	В	
L		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
曲 3 1	効 率 生	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
l		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
ſ		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
7 7	有幼生	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	子供会活動を支援	し、ふるさと	: を愛する心を育てるとともに、ジュニアリーダーを育てる事業として継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状が妥当と考え	ます。				
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理 断由	現状が妥当と考え	ます。				
禹 長	,	人員投入の方[句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状が妥当と考え	ます。				
ĺ	すぐに	できる改善提案	子供の指導	者であるジュニアリーダーの育成に努めます。			
I	目標年	度 平成27 年度					
I	中長期	的に取り組むべき	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。			
ı		改善提案					
	目標年	度 平成27 年度					

事務	事業名	成人	、式事業	ŧ								事業コード	10050500106
所管	部署	生涯	学習ス	、ポー	ツ課				電訊	50-3162		記入者名	辻本 史貴
事業	対象	年度	内に20	0歳を	迎える	、市	民および	び以前市内に	に住ん	んでいたこ	とのある	る人で参加を希	・ ・望する人
40. 4		基本	構想	生涯	を通じ	.て学	び・育	つまちづく	IJ			事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	計画	基本	計画	社会	:教育 •	生涯	[教育の	充実				事業種別	ソフト事業
実施	主体	市			実施手	-段	市が直	接実施		委託内容	無		
根拠	法令	無											
根拠	例規	無											
	計画・ ュアル	無											
	新成人(促す。	の門出	出を祝福	すると	こともに	、参加	加した新	成人一人一人	が成っ	人したことる	を自覚し、	これからの社会	会の中で自主的・協力的に行動するように
事業の目的・事業の概要等	〇報償:	費(写費	実行委員 式典消耗 郵便料、	謝礼、 品、負 手話追	ざ 食種派用 は 品、遣料	ほか) 印刷 料ほか		募集し、新成 806千円 140千円 122千円 129千円		らが実行委員	員となり豆	『典やアトラクシ	/ョン、記念品などの企画・運営を行う。

予:	算	款	教育費			項	社会教育	隻		目	青少年健	全育成費		
				平成	25年度		平成2	24年度	平成	23年度	Ę	平成	22年度	
		ž	设型		千日	7		千円			千円			千円
	١.	1	委託費		Ŧſ	9		千円			千円			千円
	事業	1	需用費		140 ∓ F	7		172 千円		Ŧſ				千円
	事業費	1	没務費		124 ∓⊩	7		123 千円			千円			千円
ス			その他		935 ∓⊩	ŋ		千円				千円		
۱,		3	事業費合計		1, 199 ∓r	7		1, 114 千円			千円			千円
	人	Ĺ	正職員	0.66 人	4, 692 + F	7	0.61 人	4,336 千円	人		千円	人		千円
1	件		临時職員	0.01 人	21 ∓⊓	ŋ	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	費		人件費合計	0.67 人	4, 713 ∓ r	円	0.61 人	4,336 千円	人		千円	人		千円
<u> </u>	総	事業	美 費		5, 912 ∓ F	ŋ		5, 450 千円			千円			千円
			国県支出金		Ŧſ	ŋ		千円			千円			千円
	特	1	使用料·手数料		Ŧſ	円		千円			千円			千円
事	正財		分担金·負担金		千	ŋ		千円			千円			千円
手	事業費	į <u>j</u>	也方債		千	ŋ		千円			千円			千円
~			その他		千	ŋ		千円			千円			千円
	<u></u>	般則	才源		5, 912 ∓r	7		5, 450 千円			千円			千円
	財	源台	計		5, 912 ∓F	7		5, 450 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
月	式典参加率	%	目標値	85. 0	達成率	85. 0	達成率	85. 0	達成率	85. 0	達成率
身	式典参加率	90	実績値	80. 9	95. 18	79. 1	93.06	81.7	96. 12	82. 7	97. 29
污	実行委員数	,	目標値	16	達成率	16	達成率	16	達成率	16	達成率
重	<u>i</u>	^	実績値	16	100	16	100	14	87. 5	13	81. 25
「事業の成果」に	ホームページ・広報掲載回数		目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6	達成率
に対する		回	実績値	6	100	6	100	5	83. 33	5	83. 33
記言	ボランティア参加者数	ı	目標値	12	達成率	12	達成率	12	達成率	12	達成率
重		_^	実績値	9	75	9	75	9	75	10	83. 33
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率	·	達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	成人式当日の運営について、新成人の受付をスムーズに進めていきたいと考えています。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に	取組状況	成人式当日は新成人の受付を4町に分けて行っているが、丸岡町は対象者人数も多く、受付場所が混雑することが多いので、今後は受付がスムーズに進むように受付場所 を増やす等の工夫をしていきます。
対 す	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、事業を実施していきたいと考えています。
る取組状況】	目標年度 平成29 年度	
状況】	取組状況	成人を迎える方々の中から成人式実行委員を募集し、成人式の企画や運営に携わっていただいています。成人式実行委員会は、委員が自らそれぞれの意見を出し合い、自 分たちの成人式を創り上げていきます。今後社会でリーダーとして活躍していくために必要とされる協調性や積極性、自主性を養う場にもなっています。今後も実行委員 の自主性を大事に事業を進めていきます。

Γ	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	[事務の効率化] 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
Γ	[事業の成果] 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理断由	成人となる自覚を	促す式典とし	して継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状維持で実施し	ていきます。				
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
「所	判理 断由	現状維持で実施し	ていきます。				
長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で実施し	ていきます。				
	すぐに	できる改善提案	現状(実行	委員会方式)が妥当と考えます。			
	目標年	度 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づいて取り組んでいきます。			
	目標年	度 平成29 年度					

事務	事業名	わん	ぱく少	年団	事業					事業コード	10050500111	
所管	部署	生涯	E 学習ス	、ポー	ツ課		電記	話 50-316	2	記入者名	福澤 斗夢	
事業	美対象	坂爿	‡市在住	の小	学5・6年	:生						
40. 4		基本	構想	生涯	を通じて学	₾び・育つまちづ	くり			事業区分	自治事務(任意的	はもの)
総合	計画	基本	計画	社会	教育・生涯	₹教育の充実				事業種別	ソフト事業	
実施	に 実施手段 市が直接実施							委託内容				
根拠	L法令	無										
根拠	1.例規	列規 無										
	計画・	有	坂井市青	少年自然	然体験活動事業実	施要項						
	坂井市 切さを	および 学ぶ。	び県内の また、	自然 <i>0</i> 坂井市	の中で様々な 方の豊かな自	体験を行うことによ 然に触れ合 う ことに	こり、自 こよって	立の精神を 、ふるさと	育み、その を大切にす	の上で仲間とコミ する健やかな心身	ミュニケーションをと Pを育成する。	りながら協力する大
						対象に募集し、スノ 通じた活動を年間 1			ンプ、クロ	コスカントリース	(キー、トレッキング	、ウオークラリー、
事業の目的・事業の概要等	〇需用 〇役務	費(指費(作	易害保険	耗品費	費、食糧費) 役使用料、機	210 24	0千円 0千円 4千円 3千円					

7	弹	Į	款	教育費					項	社会教	育費				目	青少年健	全育成費			
						平成	25年度			Ŧ	成24:	年度		平月	23年度	Ę		平成	22年度	
			報酉	Н				千円	3			1	円			千円				千円
		. [委記	£費				千円	3			7	円			千円	千円			千円
		事業	需月	用費				177 ∓₽	3			100 =	円			千円	Ŧ		千円	
1 =	,	事 業 費	役科	务費				23 ∓₽	3			-	円			千円			千円	
7	١,		その	D他				81 ∓₽	3			29 =	円			千円				千円
	۲		事美	美費合計				280 ∓₽	3			129 =	円			千円				千円
「事業のコスト」		人	正耶	戦員	(). 51 人	3	,626 ∓₽	3	0. 31	人	2, 204 🛪	円	人		千円		人		千円
カコ		件費	臨	寺職員	(). 01 人		21 ∓⊩	3	0.00	人	7	円	人		千円		人		千円
ス ト		賀	人作	‡費合計	(). 52 人	3	,647 ∓₽	3	0.31	人	2, 204 🛪	円	人		千円		人		千円
1		総事	総事業費				3	3, 927 ∓₽	3			2, 333 🛪	円			千円				千円
			国	是支出金				千円	3			7	円			千円				千円
		特定財源	使用]料·手数料				千円	3			7	円			千円				千円
事業	事	匙	分担	金·負担金				1 P	3			1	円			千円				千円
する	F 事	源	地フ	请				1 P	3			1	円			千円				千円
	Ĺ		その	D他				128 ∓₽	3			86 =	円			千円				千円
	L	一般	財源	Ī			3	3, 799 ∓₽	3			2, 247 =	円			千円				千円
		財源	合計	t T			3	3, 927 ∓₽	3			2, 333 =	円			千円				千円

		指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
	成	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
	成 果		90	実績値	100	100	100	100	100	100	100	
	成	募集定員(30人)に対する申込者数の割合	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
	成 果		/0	実績値	93. 3	93. 3	100	100	100	100	54. 3	
事業	活動	1回あたりの参加団員数の割合	%	目標値	90	達成率	90	達成率	90	達成率	90	達成率
の	動		%0	実績値	89. 3	99. 22	88. 5	98. 33	81. 7	90. 78	78. 4	
【事業の成果】				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

	すぐにできる 改善提案	事業内容により県内にある青少年の家を選択する中で、交通手段・運行距離により受益者負担金を見直す余地はあると考えられます。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に	取組状況	できるだけ坂井市内の施設・環境を利用した事業内容に変更しました。
2対する取組状況】	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育振興基本計画に沿って実施していきます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	坂井市教育振興基本計画に沿って、子どもを取り巻く環境変化に対応した事業を実施していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
他	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
ı	判理 断由	何事にも挑戦する	姿勢を育てる	る事業として継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
ı	判理 断由	地域のリーダーと	して活躍して	いくことを期待し、継続していきます。			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
T 听	判理 断由	現状維持で実施し	ていきます。				
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で実施し	ていきます。				
ı	すぐに	できる改善提案	現状が妥当	と考えます。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					

事務事業名	青少	>年育成	 拔坂井	市民会議事	:業				事業コード	10050500116
所管部署	生涯	E 学習ス	、ポー	ツ課		電話	€ 50-3162		記入者名	辻本 史貴
事業対象	青少	>年市内	の青	少年及び青	少年育成指導者、7	ボラン	ンティア			
	基本構想 生涯を通じて学び・育つまち					くり			事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合計画	基本	計画	社会	教育・生涯	E教育の充実				事業種別	ソフト事業
実施主体	市	市 実施手段 市が直接実施					委託内容			
根拠法令	無									
根拠例規 有 坂井市教育委員会生涯学習スポーツ課所管補助金等交付要綱、青少年育成坂井市民会議育成事業事務要項										
関連計画・ マニュアル	無									
青少年	青少年問題の持つ重要性に鑑み、広く市民の総意を結集し、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、青少年育成坂井市民会議を支援しま									

ま。

青少年育成坂井市民会議に対し補助金を交付し、健全な青少年を育成するための事業を実施します。同市民民会議は公民館単位の23支部で構成し、総会・理事会において市民会議の活動方針を決定します。同市民会議では、「心の教育講演会」や青少年健全育成推進大会」等を中心とした事業を展開し、市全体の健全育成を推進します。各支部においては、地域の実情に応じた活動を行い地域の青少年の健全育成を推進しま

す。
・心の教育講演会…「地域の子どもは地域が守り育てる」との認識のもと、青少年の健やかな成長を願い、その環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むために講演会を開催する。
・青少年健全育成推進大会…青少年の健全な育成についての市民意識の高揚を図る。

〇青少年育成坂井市民会議運営補助金 2,126千円

事業の目

的

予算	Ĭ	款	教育費			項	社会教育	ŧ		目	青少年健	全育成費		
				平成	25年度		平成2	24年度	平成	23年度	Ę	平成	22年度	
		報	M		千F	9		千円			千円			千円
	١.	委	迁費		1 F	9		千円	千円					千円
	事業費	需用	用費		千F	9		千円					千円	
J	費	役	务 費		ŦF	9		千円					千円	
ス		そ(の他		2, 126 + F	9		千円					千円	
		事	業費合計	2, 126 ∓F				2, 126 千円			千円			千円
	人件費	正	哉員	0.50 人	3, 555 ∓F	9	1.15 人	8, 175 千円	人		千円	人		千円
		臨	 時職員	0.00 人	1 F	9	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
		人	牛費合計	0.50 人	3, 554 ∓F	9	1.15 人	8, 175 千円	人		千円	人		千円
	総事	事業費	ŧ		5, 680 ∓F	9		10, 301 千円			千円			千円
		国	県支出金		1 F	9		千円	千円					千円
	特	使月	月料·手数料		1 F	9		千円			千円			千円
事	特定財源	分扣	旦金·負担金		1 F	9		千円			千円			千円
事業費	源	地	方債		1 F	9		千円			千円			千円
^	1	そ(の他		1 F	9		千円	千円					千円
	一般	设財派			5, 680 ∓F	9		10, 301 千円			千円			千円
	財源	原合言	+		5, 680 ∓F	9		10, 301 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	5年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	年度
成	賛助会員数	件	目標値	276	達成率	276	達成率	276	達成率	276	達成率
果		1+	実績値	252	91. 3	177	64. 13	205	74. 28	214	77. 54
成果			目標値		達成率		達成率		達成率	·	達成率
果			実績値								
活	支部事業数	件	目標値	115	達成率	115	達成率	115	達成率	115	達成率
動		117	実績値	113	98. 26	118	102. 61	125	108. 7	110	95. 65
活	青少年健全育成推進大会来場者数	ı	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
動		_^	実績値	235	117. 5	184	92	158	79	161	80. 5
活	心の教育講演会来場者数	,	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
動			実績値	79	39. 5	108	54	81	40. 5	103	51.5
活	会長表彰被表彰者・被表彰団体数	件	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
活動		14	実績値	8	80	8	80	6	60	9	90

	すぐにできる 改善提案	更なるニーズ・効果の把握に努め、市民会議の事業内容を精査し、より効果的な事業を展開するよう促していきます。特に、事業を積極的に周知・広報し、より多くの市 民の参画を得て、市民一人一人が青少年の健全育成に努めるよう働きかけていきます
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に	取組状況	心の教育講演会においてアンケートを採るなど、ニーズ・効果の把握に努めました。推進大会では、子ども達の発表団体を増やし、その団体の活動を周知し、青少年育成活動を広めることに貢献することができました。また、市民会議の活動と青少年の健全育成に多くの方に関心を持っていただくために賛助金を集め、賛助金活用事業の広報にも努めました。
対 す る	中長期的に取り組むべき 改善提案	講演会や推進大会等の市民会議事業を、市内の幅広い方々に来場していただけるように努めます。
取組	目標年度 平成29 年度	
取組状況】	取組状況	毎年、開催会場を変えることによって、各地区の市民の方が来場しやすいように事業を開催している。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
७	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	地道に継続してい	きます。				
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状を維持してい	いきます。				
		コスト投入の方向	讨性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理 断由	現状を維持してい	いきます。				
馬 長		人員投入の方[向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持してい	きます。				
	すぐに	できる改善提案	各支部の連	携を密にして推進します。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					

事務	事業名	放護	後子と	ごも教	室推進事業	ŧ				事業コード	10050500121		
所管	部署	生涯	[学習ス	スポー	·ツ課		電話	€ 50-3162		記入者名	福澤 斗夢		
事業	対象	市内	の小学	学生									
<i>to</i> . A		基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづ					(ม			事業区分	自治事務(任意的なもの)		
総合	計画	基本計画 社会教育・生涯教育の充実								事業種別	ソフト事業		
実施	主体	市 実施手段 業務の一部を委				業務の一部を委託		委託内容	坂井市放課	果後子ども教室実行委員会			
根拠	l法令	無	無										
根拠]例規	有	放課後子	どもプ	ラン推進事業費補	前助金交付要綱 他							
	関連計画・ 有 坂井市放課後子どもブラン・坂井市次世代育成支援行動計画 マニュアル												
	放課後や週末等に安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域の交流活動等の機械を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。												

坂井市放課後子ども教室実行委員会に業務を委託し、主に公民館において学習補助、文化芸術体験、世代間交流など地域のボランティアの協力 を得ながら、地域に応じた教室を実施する。

(補助率) 国 1/3 県 1/3 図補助限度額あり 放課後子ども教室実行委員会委託料 3,700千円

事業の目的・事業の概要等

財源合計

予算]	款	教育費				項	社会教	育費			目	青少年健	全育成費			
					平成2	5年度		平	成24	l年度	4	成23年	芰	<u> </u>	成22年	F度	
		棚姆				千円	3			千円			千円				千円
		委託	費			3, 302 ∓₽	3			3, 493 千円			千円				千円
	事業	需用	費			千円	3	千円			千円						千円
п	事業費	役務	費			千円	3	千円			千円						千円
ス		その	他			千円	3	千円					千円				千円
۲		事業	費合計			3, 302 ∓₽	3			3, 493 千円			千円				千円
	人件費	正職	員	0. 3	30 人	2, 133 ∓₽	3	0. 38	人	2,701 千円		人	千円		人		千円
		臨時	職員	0. ()0 人	千円	3	0.00	人	千円		人	千円		人		千円
	賀	人件	費合計	0. 3	30 人	2, 133 ∓₽	3	0. 38	人	2,701 千円		人	千円		人		千円
	総事	業費				5, 435 ∓₽	3	6, 194 千円			千円						千円
		国県:	支出金			2, 028 ∓₽	3			1,777 千円			千円				千円
	特	使用料	料·手数料			千円	3			千円			千円				千円
事業費	特定財源	分担金	金·負担金			千円	3			千円			千円				千円
来 書	源	地方	債			千円	3			千円	千円						千円
~		その	他			千円	3	千円			千円						千円
	一般	般財源 3,407 千円		3			4, 417 千円	千円						千円			

6, 194 千円

千円

千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成20	3年度	平成22	2年度
	成 事業実施教室数	教室	目標値	25	達成率	26	達成率	26	達成率	26	達成率
	成 事業実施教室数 果	叙王	実績値	25	100	25	96. 15	23	88. 46	23	88. 46
	子どもの参加者数	Y	目標値	17500	達成率	19500	達成率	19500	達成率	19500	達成率
_	活 子どもの参加者数 動	^	実績値	14180	81. 03	14552	74. 63	17324	88. 84	16189	
【事業の成果】	活 実施回数		目標値	1250	達成率	1300	達成率	1300	達成率	1300	達成率
の	活 実施回数 動	삡	実績値	1233	98. 64	1132	87. 08	1337	102. 85	1272	
果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
		,	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

5, 435 千円

	すぐにできる 改善提案	子どもたちや地域の状況やニーズを把握し、適正な事業遂行に努めます。
前	目標年度 平成29 年度	
【前年度改善案に対する	取組状況	子どもたちの生活形態が多様化している中、参加者や保護者・地域ボランティアの方などから意見を伺い、地域ごとの状況やニーズを適格に把握し実施しています。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育振興基本計画及び次世代育成支援行動計画に基づき、改善案の模索に努めていきます。
取組	目標年度 平成29 年度	
取組状況】	取組状況	坂井市教育振興基本計画及び次世代育成支援行動計画に基づき事業を実施し、地域ごとの状況・ニーズを把握し、改善案の模索に努めていきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	В	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	В	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
迪	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	±	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安	
	判理 断由	地域で子どもを見	守る事業とし	して継続していきます。				
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安	
	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	•				
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安	
所	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます					
長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安	
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で取り組んでいきます。						
	すぐに	できる改善提案	適正なメニ	ュー作りに取り組みます。				
	目標年	度 平成26 年度						
		的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。				
	目標年	度 平成29 年度						

事務	事業名	合宿	通学事	業						事業コード	10050500126
所管	部署	生涯	[学習ス	、ポー	ツ課		電話	50-3162		記入者名	宇野 正昭
事業	対象	坂井	‡市内/	、学生	4~6年生						
	基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり								事業区分	自治事務(任意的なもの)	
総合	計画	基本計画 社会教育・生涯教育の充実 事業種別 ソフト事業									ソフト事業
実施	主体	市 実施手段 業務の全部を委託						委託内容	坂井市合宿	通学事業実行委員会	がすべて運営
根拠	L 法令	無									
根拠	- 例規	有	坂井市合	宿通学	事業実施要項						
	計画・ ·ュアル	無									
	家庭を地域の		合宿生の協力を	活を付		で、日常生活における り、子どもと地域の結	家族へ	への感謝の気きの強化を図	i持ちや自 ることも	自主性、協調性を 助待できます。	育てることを目的としています。また、

地域のボランティアグループ・公民館・学校から組織する坂井市合宿通学事業実行委員会に事業実施を委託しています。

【実施内容】 公民館での共同宿泊体験、調理、洗濯、食事の準備・後始末 【対象校】 機部小、春江西小、兵庫小、三国北小、三国南小 【実施期間】 全学年:3泊4日 【募集人数】 原則として各校20名~40名の定員にしております。 (宿泊公民館の立地条件や参加希望者数等から総合的に判断して決定) ※H25合宿通学事業委託料:1,947,708円

事業の目的

予算	拿	款	教育費			項	社会教育	費		目	青少年健	全育成費		
				平成	25年度		平成:	24年度	平成	23年度	Ę	平成	t22年度	
		報	州		Ŧ	円		千円			千円			千円
		委	託費		1, 316 ∓	円		1, 457 千円			千円			千円
	事業費	需	用費		Ŧ	円		千円			千円			千円
_	費	役	務費		Ŧ	円		千円			千円			千円
ス		そ	の他		Ŧ	円		千円			千円			千円
۱		事業費合計			1, 316 ∓	円		1, 457 千円			千円			千円
	人	人正職員		1.13 人	8, 033 ∓	円	1.23 人	8,744 千円	人		千円	人		千円
ľ	件	件臨	時職員	0.05 人	103 ∓	円	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	費		件費合計	1.18 人	8, 136 ∓	円	1.23 人	8,744 千円	人		千円	人		千円
1	総事	丰業	費		9, 452 ∓	円		10, 201 千円			千円			千円
		玉	県支出金		Ŧ	円		千円			千円			千円
	特	使	用料·手数料		Ŧ	円		千円			千円			千円
事	定財源	分	担金·負担金		Ŧ	円		千円			千円			千円
事業費	源	地	方債		Ŧ	円		千円			千円			千円
^		そ	の他		Ŧ	円		千円			千円			千円
	一般	设財法	原		9, 452 ∓	Ħ		10, 201 千円			千円			千円
	財源	原合	<u> </u>		9, 452 ∓	円		10, 201 ∓⊞			千円			千円

	指標名	単位 年度 平成25年度 平成24年度				平成23	3年度	平成22年度			
成	参加者の満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
果		90	実績値	95. 4	95. 4	94. 0	94	93. 2	93. 2	95. 6	95. 6
活	参加者数 (目標値は参加校の対象児童数合計)	,	目標値	250	達成率	250	達成率	250	達成率	250	達成率
活動	(目標値は参加校の対象児童数合計)	^	実績値	160	64	157	62. 8	251	100.4	188	75. 2
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	学校、児童、家庭や地域ボランティアの多忙化が進む中、事業従事者の負担軽減が課題になっています。そこで、学校からの要望に基づき、3泊4日に加え、2泊3日での実 施も可能とするなど、地道に改善を勧めます。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	学習塾や習い事の増加による児童の多忙化やボランティア等従事者の確保難が続く中、職員とボランティアを中心に事業を運営した状態です。学校の要望も踏まえ、26年度からは、学校の希望制、2泊3日の実施も可とするなど実施要項の見直しを行いました。今後は毎年見直しを行っていく予定です。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	新教育振興基本計画に基づき、実施していきたいと考えます。
取組	目標年度 平成27 年度	
取組状況】	取組状況	参加者や保護者からの評価も高い事業ですが、参加児童や従事者確保等課題も多く、実施方法の見直しや類似事業との統合など見直しを図っていきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	В	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
७	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	А	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		古世の七白。	d.	- a + + (b) (+ 1 + + +	口無左左		5
		事業の方向性		このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	児童の健全育成事	業として継続	売していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	f.			
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	平成27	年度を目安	
所	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	f.			
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
	すぐに	こできる改善提案	地域のボラ	ンティアを取り込んで実施します。			
	目標年度 平成26 年度						
	中長期	的に取り組むべき	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。			
ı		改善提案					
	目標年	度 平成27 年度					

事務事業名 坂井・延岡ジュニア交流事業 事務事業名 事業コード 100505001														
事務	事業名	坂井	- 延岡	ジュ	ニア交流事	業				事業コード	10050	500131		
所管	部署	生涯	学習ス	、ポー	ツ課		電話	1 50−3162		記入者名	川畑	佐和子		
事業	対象	市民	2.(小学	±5 • 6	年生)									
40. 4		基本	構想	地域	全体でもて	なすまちづくり				事業区分	自治事	事務 (任意的なもの)		
総合	計画	基本	計画	国際	交流・地域	杖交流の推進				事業種別	ソフト	卜事 業		
実施	主体	市			実施手段	市が直接実施		委託内容	無					
根拠	法令	無												
根拠	例規	無	ŧ											
関連マニ	計画・ ュアル	無												
	宮崎県る。	延岡市	市と坂井	市の姉	,妹都市交流	事業の一環として、小	学校	5・6年生児童	章を対象に	に両市の名勝旧跡	の見学	や体験学習を通して人的交流を図	Z]	
	坂井市の	の小当	学生を延	岡市に	に派遣し、両	市の小学生が一緒に延	岡市	を体験します	ト。(一年	Fおきにお互いを	訪問し	合います。)		
事業	参加者			PTA	記童(5・6年生 A連合会	E)20人 2人 2人								
の目的・事業の概要等	〇需用〇役務	費(記念品) 活動用) 郵便料) 事業運賃	肖耗品	費) 25	4千円 9千円 2千円 6千円								

3	7算	j	款	教育費					項	社会教	育費				目	青少年健	全育成費			
						平成	25年			<u> </u>	成24:	年度		平成	23年度	Ę		平成	22年度	
			報酉	Н				千日	7			:	千円			千円				千円
		. [委討	£費				1, 036 ∓	9				千円			千円				千円
		事業	需月	用費				29 ∓⊩	7			203	千円			千円			千円	
1 -	,	事 業 費	役剂	务費				2 +⊦	ŋ			12 -	千円			千円			千円	
7	ζ		その	D他				24 ∓⊩	9			382 -	刊							千円
- 1	`L	- 1	事美	美費合計				1, 091 ∓⊩	ŋ			597 -	刊			千円				千円
「事業のコスト」		人	正耶	戦員	(0.57 人		4, 052 ∓	ŋ	0.45	人	3, 199	千円	人		千円		人		千円
カコ		件 費	臨	寺職員	(0.00 人		千日	9	0.00	人	:	刊	人		千円		人		千円
ス ト		賀	人化	‡費合計	(0.57 人		4, 052 ∓	ŋ	0.45	人	3, 199	千円	人		千円		人		千円
1		総事	業費	Ì				5, 143 ∓	9			3, 796	刊			千円				千円
			国県	是支出金				千日	9			:	千円			千円				千円
		特定財源	使用	料·手数料				千日	9				刊			千円				千円
当美	F	타	分担	金·負担金				千日	9			:	刊			千円				千円
ラマ	事	源	地フ	请				千日	9			:	刊			千円				千円
	Ĺ		その	D他	500 千円		9			:	門			千円				千円		
	— f	一般	財源	Ī				4, 643 ∓	9			3, 796	刊			千円				千円
		財源	合計	t T				5, 143 ∓	7			3, 796	千円			千円				千円

		指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
	成参	▶加者満足度	%	目標値	100	達成率	100	達成率	100	達成率		達成率
	果	s加者満足度 	%0	実績値	100	100	100	100	100	100		
	活参	≽加者の事前研修の回数		目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率		達成率
_	活 参 動		ы	実績値	2	100	1	50	2	100		
【事業の成果】				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の				実績値								
果				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

	すぐにできる 改善提案	将来的には、市の事業からPTA連合会の事業として実施できないかと考えています。
前	目標年度 平成27 年度	
【前年度改善案に	取組状況	事業が始まって4年目の現段階ではPTA連合会の事業として実施することは難しいと考えられます。しかし、将来的にPTA連合会の事業として実施できるよう、今後 もPTA連合会と協力して実施していきたいです。
対す	中長期的に取り組むべき 改善提案	旧丸岡町からの事業であるが、児童は市内の児童を対象としており、坂井市教育振興基本計画に則り、長期的に実施していくべきと考えます。
る取組状況】	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	今年度も4町すべての小学生が参加しています。来年度以降も市内の小学生を対象に、坂井市教育振興基本計画に則り、長期的に実施していく予定です。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
価	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理断由	有意義な交流事業	として継続し	していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理断由	現状維持で取り組	んでいきます	f			
馬長		人員投入の方[句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	r.			
	すぐに	こできる改善提案	市PTA連	合会と連携して取り組みます。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	坂井教育振	興基本計画に基づき取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					

	事務	事業名	心の家庭教育支援事業							事業コード	10050	505101			
	所管	部署	生涯	王学習 ス	ボポー	·ツ課		電話	50−3162		記入者名	門馬	聡子		
ı	事業	対象	市民												
	60. A		基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分				自治事	事務(任意的なもの)				
	総合	計画	基本	画信才	社会	教育・生涯	基教育の充実				事業種別	ソフロ	卜事業		
	実施	主体	市	市 実施手段 市が直接実施					委託内容		•				
	根拠	法令	無	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·											
	根拠	例規	無												
		計画・ ュアル	無												
地域や学校との連携を強化し、子育て中の保護者や子供たちへのより良い支援体制を作り、市全体への支援の拡充を図ります。															
【平成25年度の対象校区】 前年度の対象校など継続を希望する学校も訪問 事 業 の おここのでは、長畝、平章、明章、鳴鹿小学校 を															

予算	Ī	款 教育費			項 社会教	育費		目	青少年健	全育成費	
			平成:	25年度	平	成24年度	平成	23年度		平成	22年度
		報酬		千円		千円			千円		千円
		委託費		千円		千円			千円		千円
	事業費	需用費		56 千円		34 千円	千円				千円
	費	役務費		千円		千円	千円				千円
コス・		その他	1, 244 千円			1, 020 千円	千円				千円
۲		事業費合計	1, 300 ∓			1,054 千円			千円		千円
	人	正職員	0.38 人	2,701 千円	0.38	人 2,701 千円	人		千円	人	千円
	件費	臨時職員	0.00 人	千円	0.00	人 千円	,		千円	人	千円
	費	人件費合計	0.38 人	2,701 千円	0.38	人 2,701 千円	J		千円	人	千円
	総事	事業費		4,001 千円		3, 755 千円			千円		千円
		国県支出金		千円		千円			千円		千円
	特	使用料·手数料		千円		千円			千円		千円
事	正財	分担金·負担金		千円		千円			千円		千円
事業費	特定財源	地方債	`	千円		千円			千円	·	千円
7		その他	•	千円		千円			千円	·	千円
	一般	设財源		4,001 千円		3, 755 千円	千円				千円
	財源	原合計		4, 001 千円		3, 755 ∓⊞			千円		千円

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
成	広報紙の発行回数		目標値	4	達成率	4	達成率	6	達成率	6	達成率
集	広報紙の発行回数 	Ш	実績値	4	100	4	100	4		6	
泛	子育て講座の開催数	回	目標値	19	達成率	19	達成率	19	達成率	19	達成率
重	1	ы	実績値	7	36. 84	6	31.58	7		9	
泛	年間の子ども相談室の開催数(一地区あたり平均 値)		目標値	48	達成率	36	達成率	36	達成率	36	達成率
動] 値)	Ш	実績値	59	122. 92	59	163.89	52	144. 44	45	
3/2			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	事業の成果が数値で表せるものではないことから、相談にきた児童・保護者に対してのアンケートを実施したいと考えます。
前年	目標年度 平成27 年度	
年度改善案に	取組状況	相談に来る生徒、保護者ともに基本的な姿勢を「話をじっくり伺う」ことに重点を置いているので、アンケートを取ることは実質的には難しいことがわかりました。今後 は相談に実際に来る人ではなく、対象者の小学生や保護者の普段の様子を把握している学校にアンケートを実施する予定です。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育振興基本計画に沿った事業の展開を進めていきたいと考えます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	坂井市教育振興基本計画に沿って、子どもたちと保護者をサポートできるように事業を運営していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
迪	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	家庭教育を支援す	る事業として	C継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
「所	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	f.			
禹 長	,	人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
	すぐに	こできる改善提案	支援チーム	の人材を確保しながら取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					
	中長期	的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					

_															
	事務	事業名	る 愛護センター事業								事業コード	10050600101			
	所管	部署	生涯学習スポーツ課 電話 50-3162 記え							記入者名	岡 弘和				
	事業	対象	市内	市内の青少年											
	40. 4	-1-	基本	構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり					事業区分	自治事務(任意的なもの)				
	総合	計画	基本計画 社			社会教育・生涯教育の充実				事業種別	ソフト事業				
	実施	主体	体 市 実施手段 市が直接実施 委託内容												
	根拠	l法令	有	坂井市青少年愛護センター条例											
	根拠	l例規	有	坂井市青	坂井市青少年愛護センター条例施行規則										
		計画・ -ュアル	無												
【事業の概要】	事業の目的・事業の概要等						全な育成を促進する。 けによる早期発見 の回いまでである。 はいでは、 日本のは、 日本ののは、 日本のののである。 日本のののである。 日本のののである。 日本ののでは、 日本ののでは、 日本ののでは、 日本のでは、	収廃す	美 各発活動の実	施					

	予算	Ι :	款	教育費				項	社会教	育費			目	青少年愛	護センター費		
						平成2	!5年度		平	成24年	度	平原	t23年度	Ę	平原	成22年度	
			報	j i l			千	7			千円			千円			千円
			委				307 ∓।	9			305 千円			千円			千円
		事業	需用	用費			652 ∓।	7			743 千円			千円			千円
	_	事業費	役	务費			64 ∓।	9			88 千円			千円			千円
	ス		そ(の他			1, 170 ∓।	9	1, 131 千円					千円			千円
_	۲		事	業費合計			2, 193 ∓ı	9			2, 267 千円			千円			千円
【事業のコスト】		人	正理	哉員	0. 2	5 人	1, 777 + ।	9	0.35	,	2,488 千円	٨		千円	J		千円
のコ		件	臨	寺職員	0.0	10 人	千	7	0.00	人	千円	٨		千円	J		千円
スト		費	人	牛費合計	0. 2	5 人	1, 777 + ।	9	0.35	,	2,488 千円	J		千円	J		千円
۲		総事	業	ŧ			3, 970 ∓।	9			4, 755 千円			千円			千円
			国	是支出金			396 ∓।	7			401 千円			千円			千円
		特	使月	月料·手数料			千日	9			千円			千円			千円
	事業費	正財	分担	⊒金·負担金			千日	9			千円			千円			千円
	耒 費	特定財源	地	方債			千日	7			千円			千円			千円
	~		そ(の他			千	9	千円			千円				千円	
		一般	设財派	Į.			3, 574 ∓1	9			4, 354 千円		, and the second	千円		·	千円
		財源	京合 言	+			3, 970 ∓1	7			4, 755 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	5年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成一般補導員延べ出務回数	0	目標値	750	達成率	750	達成率	750	達成率	750	達成率
	成 一般補導員延べ出務回数 果	Ш	実績値	664	88. 53	689	91.87	743	99. 07	713	95. 07
	成 少年等相談件数	件	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
T	果	н	実績値	268	134	289	144. 5	393	196. 5	378	
事業	活ー般補導員延べ出務人数動	0	目標値	1500	達成率	1500	達成率	1500	達成率	1450	達成率
の	動	Ш	実績値	1357	90. 47	1385	92. 33	1500	100	1404	96. 83
成 果	活 白いポスト回収点数	点	目標値	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率	1000	達成率
	動	AN.	実績値	992	99. 2	1263	126. 3	1518	151.8	1014	101.4
	活会議・研修会開催数		目標値	7	達成率	7	達成率	7	達成率	7	達成率
	動		実績値	7	100	10	142. 86	6	85. 71	7	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	まちづくり協議会など地域団体と連携を図りながら、積極的な青少年の健全育成を推進していく必要があると考えます。また、一般補導員の4地区連絡会を開催すること により、補導員同士が情報を共有することができ連携強化が図られると考えます。
前	目標年度 平成26 年度	
【前年度改善案に対す	取組状況	4地区一般補導員の組織を設立し、各地区代表者による連絡会を開催します。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	PTA選出の補導員への継続周知や各種団体との連携を図ることで、一般補導員が確保され、補導活動の充実が図られると考えています。
る取組状況】	目標年度 未設定 年度	
状況】	取組状況	継続的に実施していきます。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
킐	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	С	

		事業の方向性	±	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	青少年を取り巻く	環境に考慮し	ン、継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
		コスト投入の方向]性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状維持で取り組	んでいきます	t.			
	すぐに	できる改善提案	まちづくり	協議会とも連携して取り組んでいきます。			
	目標年	度 平成26 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	坂井市教育	振興基本計画に基づき取り組みます。			
	目標年	度 平成27 年度					

事務署	事業名	スホ	ポーツ推	推委	員運営事業	•				事業コード	10060105101
所管	部署	生涯	学習ス	ヽポー	ツ課		電話	50-3163		記入者名	西出 政男
事業	事業対象 坂井市民・体育指導委員										
		基本	構想	生涯	を通じて営	ሷび・育つまちづく	IJ			事業区分	自治事務(任意的なもの)
総合	計画	基本計画 スポーツ・レクリエーションの					長 興			事業種別	ソフト事業
実施	主体	市			実施手段	市が直接実施	ŧ	委託内容			
根拠	法令	有 スポーツ振興法									
根拠	例規	有	坂井市体	育指導	委員に関する規則	I					
関連マニ	計画・ ュアル	有	坂井市ス	ポーツ排	辰興基本計画						
		ツ推進	進委員に	こより、	スポーツ活	動の推進やスポーツイ	ベント	への協力など	どを行し	い、市のスポーツ	振興を図る。

【部会内容】 スポーツ推進委員 47名 総務部会:委員の広報活動、総合型地域スポーツクラブの育成及び推進 事業部会:各種スポーツ行事、大会企画、運営及び指導 研修部会:市民、体育指導委員の資質向上に寄与する研修・講習会の企画

その他、団体や地域からの依頼により、ニュースポーツ・体力測定・マリン体操の派遣指導・協力を行う。

〇報酬(スポーツ推進委員報酬) 〇旅費

1,504千円

事業の目的

〇旅資 (北陸地区スポーツ推進委員研修会) 〇需用費(啓発) 〇役務費(傷害保険料) 〇負担金(県協議会負担金、研修参加負担金他)

113千円 300千円 87千円 104千円

予算	氧	款	教育費			項	保健体育	費		目	保健体育	総務費		
				平成	25年度		平成	24年度	平成	23年度		平成	22年度	
		報	ill H		1, 504 千円			1,504 千円			千円			千円
		委	托費		千円			千円			千円	千円		
	事業	需用	用費		32 ∓円			635 千円			千円			千円
_	事業費	役	务費		87 千円			千円					千円	
コス・		その他			328 ∓円			158 千円	千円					千円
۲	事業費合計		業費合計		1, 951 千円			2, 384 千円			千円			千円
	人	. 丁唑昌		0.49 人	3,483 千円		0.49 人	3, 483 ∓⊞	人		千円	人		千円
	件	人 <u> </u>		0.00 人	千円		0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	賀	人	牛費合計	0.49 人	3, 483 ∓円		0.49 人	3, 483 千円	人		千円	人		千円
	総事	事業費	ŧ		5, 434 千円			5, 867 千円			千円			千円
		国	果支出金		千円			千円			千円			千円
	特	使月	月料·手数料		千円			千円			千円			千円
事業費	特定財源	分担	旦金·負担金		千円			千円			千円			千円
表	源	地	方債		千円			千円			千円	- 1		千円
~		そ(の他		千円			千円			千円			千円
	— 舟	设財 派	東		5, 434 千円			5,867 千円			千円			千円
	財派	原合言	+		5, 434 千円			5, 867 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4年度	平成23	3年度	平成22	2年度
成	スポーツ推進委員派遣指導依頼回数		目標値	25	達成率	25	達成率	21	達成率	26	達成率
果		Ш	実績値	23	92	28	112	28	133. 33	18	69. 23
活	研修回数	回	目標値	6	達成率	6	達成率	6	達成率	6	達成率
動		ы	実績値	8	133. 33	4	66. 67	6	100	6	100
活動	会議回数		目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	25	達成率
活動		回	実績値	26	104	29	116	41	164	38	152
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

すぐにできる 改善提案	スポーツ推進委員が中心となって、常に事業の内容や市民への周知をより良い事業の企画・実施をしていくことが必要だと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき 改善提案	23年度から10年先を見据えた「坂井市スポーツ振興基本計画」に基づき、改善点を模索しながら事業を展開していきたいと考えます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	В	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
迪	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	В	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	スポーツ推進委員	によるスポー	-ツ活動の推進やスポーツイベントへの協力・実施など、市民の体力・健康づくりを進めます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	誰でも参加できる	ニュースポー	-ツの普及など、スポーツ活動の推進をスポーツ推進委員により進めます。			
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
T 新	判理 断由	現状を維持し、効	果的な事業の)運営に努めます。			
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持し、効	果的な事業の)運営に努めます。			
	すぐに	できる改善提案	市民ニーズ	を踏まえた事業の内容や市民への周知について熟慮し、より良い事業の企画・実施をしていきます。			
ı	目標年	度 平成27 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	市民のスポ か検討を行	ーツの振興・普及について「坂井市スポーツ振興基本計画」に基づき、事業を展開していきます。ま います。	た、市体育協会。	との連携により、より有	効な事業ができない
ı	目標年	度 平成27 年度					

事務	事業名	保傾	体育事	務事	業					事業コード	10060110101		
所管	部署	生涯	学習ス	、ポー	ツ課		電話	舌 50-3163		記入者名	西出 政男		
事業	対象	市民	<u>.</u>										
<i>to</i> A	基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり 事業区分 自治事務(任意的なもの)												
総合	総合計画 基本計画 スポーツ・レクリエーションの振興 事業種別 ソフト事業												
実施主体 市 実施手段 市が直接実施 委託内容													
根拠	法令	無											
根拠	.例規	無											
関連マニ	計画・ ュアル	無											
		ツ振卵	飓の充実	を図る	らための事業	を行う。							
事業の目的・事業の概要等	スス各各種は	ツツ議議	理生	事る助、	長事項につい §業: ⊒金助成を行	て調査審議し、市教育 っている。	委員:	会に建議する	目的によ	ちり設置されます	- o		

ı	予算	<u> </u>	款	教育費				項	保健体	育費				目	保健体育	総務費			
						平成2	5年度		平	成24年	年度		平成	23年度		3	平成2	22年度	
			報酬	Н			Ŧ	円			Ŧ	円			千円				千円
			委記	£費			25 ∓	円			Ŧ	円			千円	千円			千円
		事業	需月	用費			12 ∓	円			3 ∓	円			千円	-		千円	
	_	事業費	役科	务費			116 ∓	円			Ŧ	円			千円	Ŧ		千円	
	ス		その	D他			15 ∓	円			423 ∓	円			千円				千円
=	٢		事業	美費合計			168 ∓	円			426 ∓	円			千円				千円
【事業のコスト】		人	正耶	戦員	0. 1	7 人	1, 209 ∓	円	0.35	人	2, 488 ∓	円	人		千円		人		千円
のコ		件	臨	寺職員	0. 00	0 人	Ŧ	円	0.00	人	Ŧ	円	人		千円		人		千円
スト		費	人作	‡費合計	0. 1	7 人	1, 209 ∓	円	0.35	人	2, 488 ∓	円	人		千円		人		千円
_		総事	業費	Ì			1, 377 +	円			2, 914 ∓	円			千円				千円
			国	是支出金			Ŧ	円			Ŧ	円			千円				千円
		特	使用]料·手数料			Ŧ	円			Ŧ	円			千円				千円
	事業費	特定財源	分担	金·負担金			Ŧ	円			Ŧ	円			千円				千円
	来 費	源	地フ	请			Ŧ	円			Ŧ	円			千円				千円
	^		その	D他			Ŧ	円			Ŧ	円			千円				千円
		一般	以財源	Ī			1, 377 ∓	円			2, 914 ∓	円			千円				千円
		財源	合言	t T			1, 377 ∓	円			2, 914 ∓	円			千円	·			千円

		指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	l年度	平成23	3年度	平成22	年度
	成	陸上競技場2種継続検定の可否		目標値		達成率		達成率		達成率	可	達成率
	果			実績値							可	
	活	各種協議会負担金助成額	円	目標値	9000	達成率	9000	達成率	9000	達成率	16000	達成率
Ξ	動		1,	実績値			9000	100	9000	100	16000	100
争				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
の				実績値								
業の成果】				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

	すぐにできる 改善提案	次回(平成27年度)検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的に整備を行い、継続公認が認定されるよう努める。
前	目標年度 平成27 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画に基づき、改善案を見極めながら事業を推進していきます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	
1日当新平西1		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	

ı		事業の方向性	<u> </u>	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
ı	判理 断由	スポーツ審議会の	開催、各種協	a議会に対しての助成を行うものであり、今後とも継続していきます。			
ı		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
I	判理 断由	市が主体となって	行うものであ	5り、継続して実施していきます。			
		コスト投入の方向]性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理 断由	適正なものと判断	し、現状を終	推持していきます。			
禹長	,	人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持してい	きます。				
I	すぐに	できる改善提案	陸上競技場	2種継続への検定に向けて指定管理者である公益財団法人坂井市体育協会と連携して計画的な準備を	進めます。		
ı	目標年	度 平成27 年度					
ı	中長期	的に取り組むべき	坂井市スポ	一ツ振興基本計画に基づき、事業を推進していきます。			
ı		改善提案					
	目標年	度 平成27 年度					

事務	事業名	国位	捧推進 事	業						事業コード	10060115101
所管	部署	生涯	重学習ス	ヾポー	ツ課		電訊	50-3163		記入者名	矢尾 昭宏
事業	美対象										
4/\ A	基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり 総合計画 サルコー は、							事業区分	自治事務(任意的なもの)		
総合	3計画	基本	画信	スポ	『一ツ・レク	フリエーションの オ	振興			事業種別	ハード事業
実旅	実施主体 市 実施手段 市が直接実施 委託内容										
根拟	艮拠法令 有 スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項										
	L例規	無									
	i計画・ <u>-ュアル</u>	無									
事業の目的・事業の概要等	丸 国 国 〇〇〇 保丸 行け民国 旅特需役庁庁	ポープ・デス体。。育体 (旅費費カンカー) 大ポ開人 大育 「F費(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ソ 会一崔工 会大 四(忍 イルラーにツの芝 会 グ国定 人人・アン 博力 学生 事ら が民検 エエ・ド 用ンツを 業年 『体査 『エー	の すドカ国 概前 ル育昼 ととと る改一体 要ま 人大食 パチ	を を を で を で を で で で で で で で で で で で で で	大会に向る から	グパイノ ンドのノ ピッチの 業概要し 1,63	人工芝生化 る 認定審査を	· · · 受		

Г	予算	[]	款	教育費				項	保健体育	費		目	保健体育	総務費	
Г						平成	25年度		平成:	24年度	平成	23年度		平成	22年度
			報	9M			Ŧ	円		千円			千円		千円
			委	托費			2, 100 ∓	円		千円			千円		千円
		事業	需用	用費	5 千円		円		千円	千円				千円	
	_	事業費	役	務費	81 千円			円		千円				千円	
	ス		その他			622, 411 千円		円		千円				千円	
2	١-		事業費合計				624, 597 +	円		千円			千円		千円
事業		人	正	職員		0.63 人	4, 479 +	円	人	千円	人		千円	人	千円
カコ		件 費	臨	侍職員		0.00 人	Ŧ	円	人	千円	人		千円	人	千円
【事業のコスト】		賀	人	牛費合計		0.63 人	4, 479 +	円	人	千円	人		千円	人	千円
L		総事業費					629, 076 T	円		千円			千円		千円
			国	具支出金			100, 000 ∓	円		千円				千円	
		特 定 財源	使月	月料·手数料			Ŧ	円		千円				千円	
	事業	正財	分担	旦金·負担金			Ŧ	円		千円			千円		千円
	事 業 費	源	地	方債			322, 600 +	円		千円			千円		千円
1	^		そ(の他			4 5, 600 ∓	円		千円	千円				千円
1		一般	財源	京			160, 876 +	円		千円			千円		千円
		財源	原合計				629, 076 +	円		千円	千円				千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	l年度	平成23	年度	平成22	年度
	成国体に使用する競技会場の整備		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
	果		実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
事業			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
業の出			実績値								
成 果			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
_			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	福井しあわせ元気国体に使用する競技会場の施設改修を実施します。
前	目標年度 平成28 年度	
【前年度改善案に対する	取組状況	サッカー競技、バレーボール競技で使用する施設を計画的に改修していきます。H25では丸岡スポーツランド多目的グラウンドの改修を実施しました。H26には、丸岡スポーツランドサッカー場の改修、H27には、三国体育館、三国運動公園陸上競技場の改修、H28は、丸岡体育館、三国運動公園多目的競技場の改修を予定しています。
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	平成30年に開催される福井しあわせ元気国体開催に向けた準備を行います。 坂井市準備委員会を設置し、市民、事業者、関係機関・団体及び行政の協働により具体的な準備計画等を策定します。
取組	目標年度 平成30 年度	
取組状況】	取組状況	坂井市準備委員会設置に向けた準備を行っています。

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
킐	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		平成26	年度を目安								
	判理 断由	国体開催に向け、	競技会場の旅	恵設改修を実施するとともに、準備委員会の設置をしていきます。							
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安				
	判理 断由	国体開催に向け、	準備委員会を	設置し計画的な準備を進めます。							
		コスト投入の方向	1性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成30	年度を目安				
「所	判理 断由	国体開催に必要な	準備内容を料	計査しながら、効果的な事業費を投入します。							
馬長		人員投入の方向	句性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成30	年度を目安				
【所属長評価】	判理 断由	国体開催の準備状	況と進捗を十分検討しながら、必要な人員の増員を図ります。								
	すぐに	できる改善提案	国体開催に 準備を進め	向け、サッカー。バレーボール競技会場の施設整備を実施するとともに、準備委員会、実行委員会を ていきます。	設置し、市民、	事業者、関係機関・団体	が協働により、開催				
	目標年	度 平成30 年度									
		的に取り組むべき 改善提案	国体開催に す。	向けて事業を推進するとともに、国体終了後の市民のスポーツの浸透、普及、体力・健康づくりなど	、スポーツの習作	貫化・定着につながるよ	う取り組んでいきま				
	目標年	度 平成30 年度									

事	務事業名	ス	ポ	ーツ大	会運	営事業					事業コード	10060200101	
所'	管部署	生	涯	学習ス	ポー	ツ課		電話	€ 50-3163		記入者名	西出 政男	
事	業対象	大	大会参加者・大会実施団体										
400	基本構想 生涯を通じて学び・育つまち							IJ			事業区分	自治事務(任意的なもの)	
総	総合計画 基本計画 スポーツ・レクリエーション						フリエーションの振!)振興			事業種別	ソフト事業	
実	施主体	市	市 実施手段 業務の一部を委						委託内容	大会運営事	· 李		
根	拠法令	無	無										
根	拠例規	無	Ę										
	連計画・ ニュアル	,有	ī	坂井市ス	ポーツ掛	長興基本計画							
									ぎしめるよう推進するとともに、各種競技				
要													

39千円 57千円 4,800千円 2,500千円 2,300千円

目的

事業の概要等

〇需用費(大会消耗品費、食糧費) 〇役務費(傷害保険料) 〇委託料 ・坂井市古城マラソン ・坂井市民スポーツ祭

【市内で開催されるスポーツ大会の振興】
市内外のチームとの試合を通じ、技術・競技力の向上及び地域間の交流
〇補助金 1,800千円
・坂井市古城カップサッカー大会補助金 700千円
・坂井地区高等学校野球連盟事業補助金 1,000千円
・古城グリーンロードレース大会事業費補助金 1,000千円

予算	草	款	教育費			項	保健体育費	Ę		目	体育振興	費		
				平成	25年度		平成2	4年度	平成	23年度		平成	22年度	
		3	报酬		千円	1		千円			千円			千円
	١.	4	委託費		4, 800 ∓₽	1		千円					千円	
	事業	- 1	需用費	46 千円				78 千円			千円			千円
コ	事業費	1	没務費		56 ∓₽	1		千円					千円	
ス			その他		1,800 ∓₽	1				千円			千円	
۱	H	3	事業費合計		6, 702 ∓₽			5, 596 千円			千円			千円
	人	Ĺ	正職員	0.41 人	2, 915 ∓₽	1	0.35 人	2,488 千円	人		千円	人		千円
1	件	- [临時職員	0.00 人	千円	1	0.00 人	千円	人		千円	人		千円
	費		人件費合計	0.41 人	2, 915 ∓₽	1	0.35 人	2,488 千円	人		千円	人		千円
1	総	事業	美費	9,617 千円				千円					千円	
		[国県支出金	千円				千円					千円	
	特	1	使用料·手数料		千円	3		千円					千円	
事 業 費	特定財源		分担金·負担金		千円	1		千円			千円			千円
基	源	į	也方債		千円	1		千円			千円			千円
~		-	その他		59 ∓⊬	1		44 千円			千円			千円
	<u>-</u> ;	般則	才源		9,558 ∓₽	1		8, 040 千円	千円					千円
	財	源台	計		9, 617 ∓₽	1		8, 084 千円			千円			千円

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成24	4年度	平成2	3年度	平成22	2年度
成	坂井市民スポーツ祭参加者延べ人数		目標値	4500	達成率	4500	達成率	4500	達成率	4500	達成率
果		^	実績値	3010	66. 89	3453	76. 73	3043	67. 62	2633	58. 51
成	坂井市古城マラソン申込者数	,	目標値	4000	達成率	3000	達成率	3000	達成率	3000	達成率
果			実績値	3809	95. 22	3841	128. 03	3754	125. 13	3389	112. 97
▮活	体育指導委員会主管大会参加者数		目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	200	達成率
動		^	実績値	67	33. 5	34	17	70	35	78	39
活	坂井市民スポーツ祭種目協会開催協議数	種目	目標値	25	達成率	20	達成率	20	達成率	20	達成率
動		11 11	実績値	25	100	24	120	22	110	20	100
活	坂井市古城カップサッカー大会参加チーム数	チーム	目標値	60	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
動		_	実績値	40	66. 67	40	40	84	84	94	94
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	事業補助金については内容を精査した上で見直し済みであり、更に事業チェックをしていきたいと考えます。現段階では改善点はないものと考えます。
前	目標年度 平成27 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画の内容に沿う方向で進めていきたいと考えます。
取組	目標年度 平成27 年度	
状況】	取組状況	

Γ	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
妥当性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
	[事務の効率化] 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
効率性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
Γ	[事業の成果] 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
有効性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安		
	判理 断由	より多くの人がス	ポーツ活動に	一参加できるように支援していきます。					
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安		
	判理 断由	幅広い年齢層に、	スポーツ活動	かの場を提供できるように事業を進めていきます。					
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安		
所	判理 断由	各種大会の実施に	係る必要な総	を費を精査しながら負担していきます。					
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安		
【所属長評価】	判理 断由	坂井市体育協会・スポーツ推進員の協力を得ながら、必要最小限の人員で事業を実施しています。							
	すぐに	できる改善提案	事業内容を	精査、チェックしながら事業を進めていきます。					
	目標年	度 平成27 年度							
		的に取り組むべき 改善提案	坂井市スポ	一ツ振興基本計画に基づき、事業を推進します。					
	目標年	度 平成27 年度							

事務	事業名	スオ	ポーツ振	興事	業					事業コード	10060200106
所管	部署	生涯	王学習 ス	、ポー	·ツ課		電記	話 50-3163		記入者名	西出 政男
事業	対象					大会出場者 で坂井市に保護者	が在	住する出場	者。坂邦	井市体育協会、	坂井市スポーツ少年団
基本構想 生涯を通じて学び・育つまちづくり 事業区分 自治事務(任意 総合計画 サルマー 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									自治事務(任意的なもの)		
基本計画 スポーツ・レクリエーションの振興 事業種別 ソフト事業									ソフト事業		
実施	主体	また 実施手段 市が直接実施 委託内容									
根拠	l法令	無									
根拠例規 有 坂井市全国スポーツ大会出場激励金支給要綱											
	計画・ -ュアル	有	坂井市ス	ポーツ	振興基本計画						
事業の目的・事業の概要等	坂 一 「	民 事を体大ア大野 償用 補の 協市発助一の 業勝育会大会球 費費 助年 会市展金ツ	ス 上ち大 会・ ((事間 重式及 少ポ 抜会 高 激消 業活 営のび2年 一 き 校 励耗 】動 補体競2団 ・ サ 金品 に 助育技 通	振全1一規規ツ)費対金及力9営 興国の般模模力・していのでは	た ここ 大 ここ 大 ここ 大 ここ 大 ここ 大 ここ	円/人、高校生以下 , 000円以内/人 , 000円以内/人 ので 1チーム 500 9千円 5千円 支給する。 興を図るとともに、†	・ 力を行	ついて、激励 のの円// のの円 体力向上と	か金を支糸	合する。	りとする。また加盟30団体の競技種目の まともに健全な青少年の育成を目的とす

L	る	各種スポーツ活動。 ○補助金 4, 2 ポーツ振興事業 リフェニック リスポーツの振 ハポーツの は ローツの は いは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0.0壬円								
予算	草	款教育費			項 保健体育費	費		目 体育振興	費		
			平成2	5年度	平成2	24年度	平成	23年度	平成	22年度	
		報酬		千円		千円 千円				千円	
	_	委託費		千円		315 千円		千円		千円	
	事業費	需用費		5 千円		4 千円		千円		千円	
_	費	役務費		千円		千円		千円	Ŧ		
スト		その他		30,662 千円		32, 097 千円		千円		千円	
		事業費合計		30, 667 千円		32, 416 千円		千円		千円	
	人	正職員	0.57 人	4,052 千円	0.52 人	3,697 千円	人	千円	ل	千円	
	件費	臨時職員	0.00 ㅅ	千円	0.00 시	千円	人	千円	ل	千円	
		人件費合計	0.57 人	4,052 千円	0.52 人	3,697 千円	,	千円	ا	千円	
	総事	事業費		34, 719 千円		36, 113 千円		千円		千円	
		国県支出金		千円		千円		千円		千円	
L_	特定	使用料·手数料		千円		千円		千円		千円	
事業費	特定財	分担金·負担金		千円		千円		千円		千円	
費	源			千円		千円		千円		<u>千円</u> 千円	
		その他		千円		千円		千円	千円		
		殳財源		34, 719 千円		36, 113 千円		千円	円 千円		
	財派	原合計		34, 719 千円		36, 113 千円	千円			千円	

	指標名	単位	年度	平成2	5年度	平成24	4年度	平成20	3年度	平成22	2年度
成	激励金支出人数		目標値	344	達成率	343	達成率	342	達成率	332	達成率
果		^	実績値	355	103. 2	325	94. 75	326	95. 32	284	85. 54
成	体育協会加盟団体開催事業数	事業	目標値	105	達成率	105	達成率	105	達成率	102	達成率
果		尹木	実績値	116	110. 48	119	113. 33	114	108. 57	115	112. 75
活	国際大会出場者数	١,	目標値	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
動		^	実績値	6	60	7	70	7	70	13	130
活	国民体育大会出場者数	,	目標値	30	達成率	30	達成率	30	達成率	40	達成率
動		^	実績値	24	80	30	100	35	116. 67	26	65
活	スポーツ少年団加入員数	Ţ	目標値	2000	達成率	2000	達成率	2000	達成率	2000	達成率
			実績値	1475	73. 75	1495	74. 75	1533	76. 65	1586	79. 3
活	ちびっこサッカー教室参加者数	,	目標値	300	達成率	300	達成率		達成率		達成率
動		^	実績値	280	93. 33	180	60				

すぐにできる 改善提案	幅広い年齢層が親しめる生涯スポーツの振興を図り、更なる競技力向上に努めていきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき 改善提案	坂井市スポーツ振興基本計画のスポーツ振興に寄与するもので、今後も継続していきます。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	それぞれの事業目	的にそって、	事業内容を精査しながら継続していきます。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
	判理 断由	現状のとおり実施	していきたに	いと考えます。			
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
所	判理断由	スポーツ振興を図	るため、事業	(内容、コストなど精査しながら助成していきます。			
馬長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持し、効	果的な事業の	D運営に努めます。			
	すぐに	できる改善提案	生涯スポー	ツの振興を図るともに、更なる競技力向上に努めていきます。			
	目標年	度 平成27 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	坂井市スポ	一ツ振興基本計画を踏まえ、事業を精査・チェックしながら事業を進めていきます。			
	目標年	度 平成27 年度					

ľ	事務	事業名	体育	育施設管	理事	業					事業コード	10060	300101		
	所管	部署	生涯	軽学習ス	、ポー	·ツ課		電話	50-3163		記入者名	宮永	英之		
	事業	対象	社会	ὲ体育 施	設及	び学校体育	施設の開放								
	<i>(</i> () A	-1 	基本	構想	生涯	[を通じて学	ዾび・育つまちづく	IJ			事業区分	自治事	幕務(任意	的なもの)	
	総合計画基本計画			スホ	ポーツ・レク	フリエーションの振興				事業種別	施設管	理事業			
	実施	主体	市 実施手段 業務の一部を委託 委託内容 ^{学校体育施設の管理運営}												
	根拠	法令	無	# H											
	根拠例規 有 塚			坂井市学	坂井市学校体育施設の開放に関する条例及び同施行規則、三国運動公園野球場広告掲載実施要領										
		計画・ ュアル	無												
「事業の既要」		スポー 図りま		竟の整備	充実を	を図るため、	坂井市の総合計画と整	合させ	ながら、艮	既存の体育	育施設が安全かつ	安心し	て利用でき	るよ う 、施設(の管理を
が既要 】	事業	水・を考慮	中学社	公益財団	施設 法人均	生、学校行事 反井市体育協	に支障をきたさない範 会に事業を委託します	囲で開。	放し、市民	民の健康堆	曽進やスポーツの)振興を	図ります。ま	また、利用者の	の利便性
	の	の 二国連期公園野球場のグラフ				ェンスに有料広告を募	集し掲	載します。	広告料は	は、市内体育施設	の改修	費用に充て	ます。		
	目的・事業の概	〇旅 〇需 〇役 〇委	費用務託学防	对象物点	種会調 維料) 除料)	事業委託料	49, 342千P 109日 149日 399日 11, 085日	F円 F円 F円	〇工事 〇備品 〇負担	請負費(購入費(金(B&	借料(土地借上 体育施設整備工 体育施設AED G地域海洋セン ター周辺水田補	事費) 購入費) ター負担		30, 270千円 5, 198千円 1, 004千円 740千円 20千円	
	概し省エネ			事業 (施設等	修繕料	斗)	368-	千円							

7	算	Į	款	教育費					項	保健体	育費				目	体育施設	費			
						平成	25年	度		<u> </u>	成24	年度		平成	23年度		:	平成	22年度	
			報西	H				千日	9			1 F	1			千円				千円
		. [委託					6, 581 + 1	9			11,085 ∓₽	1			千円				千円
		事業	需月	費				432 ∓।	7			517 ∓⊬	1			千円			千円	
1 =	.	事 業 費	役務	務費				375 +⊦	7			399 +⊬]			千円			千円	
フ			その	D他				63, 478 ∓ 1	ŋ			37, 342 ∓⊭	3			千円				千円
- I	L	人	事業	養合計				70, 866 ∓1	7			49, 343 ∓₽	1			千円				千円
「事業のコスト」			正聪	战員	(0.56 人		3, 981 ∓1	ŋ	0. 55	人	3,910 ∓⊭	3	人		千円		人		千円
カコ		件費	臨時	持職員	(0.00 人		ŦI	ŋ	0.00	人	 ∓F	1	人		千円		人		千円
ス ト		賀	人作	‡費合計	(0.56 人		3, 981 ∓	ŋ	0.55	人	3,910 ∓⊭	1	人		千円		人		千円
_		総事	業費	}				74, 847 ∓1	ŋ			53, 253 ∓₽	1			千円				千円
			国県	支出金				ŦI	円			 ∓F	3			千円				千円
		特	使用	料·手数料				ŦI	円			 ∓F	3			千円				千円
事	∓	正	分担	!金·負担金				ŦI	ŋ			1 ₽	1			千円				千円
ま す	B	特定財源	地力	債				ŦI	ŋ			1 ₽	1			千円				千円
	Ĺ		その	D他				600 ∓⊩	9			800 ∓⊭	1			千円				千円
	L	一般	財源	į				74, 247 + 1	7			52, 453 ∓₽	1			千円				千円
		財源	合計	+				74, 847 + 1	7			53, 253 ∓₽	3			千円				千円

	指標名	単位	年度	平成25	年度	平成24	4 年度	平成23	3年度	平成22	2年度
成	学校体育施設利用者数	ı	目標値	80, 000	達成率	80, 000	達成率	80, 000	達成率	95, 000	達成率
果		^	実績値			70, 197	87. 75	80, 374	100. 47	92, 387	97. 25
活	学校体育施設開放対象校数	校	目標値	25	達成率	25	達成率	25	達成率	25	達成率
動		12	実績値	25	100	25	100	25	100	25	100
活	広告料収入	千円	目標値	2, 400	達成率	2, 400	達成率	2, 400	達成率	2, 415	達成率
動	広告料収入	干円	実績値			2, 400	100	2, 400	100	2, 415	100
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

	すぐにできる 改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。
前	目標年度 平成25 年度	
【前年度改善案に対する取組状況】	取組状況	
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	施設の老朽化により修繕費がかさんでいるため、施設の統廃合を検討します。 また、平成30年に開催予定の福井国体に向けた施設整備を福井県国体推進室及び各競技協会と協議します。
取組	目標年度 平成30 年度	
状況】	取組状況	

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
७	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	

		事業の方向性	生	このまま継続します。	目標年度	平成29	年度を目安
	判理 断由	市民のスポーツの	普及及び健康	東増進のため、施設の適切な維持管理を行います。			
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成29	年度を目安
	判理 断由	市民が安全に利用	できるよう放	適設の維持管理を行います。			
		コスト投入の方向	1性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
所	判理 断由	コストを抑えた適	切な管理を行	テいつつ、施設の修繕を計画的に実施していきます。			
長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成29	年度を目安
【所属長評価】	判理 断由	国体の施設整備が	ありますが、	できるだけ現状のとおり進めます。			
	すぐに	できる改善提案	施設の老朽 また、国体	化が進んでいるため、指定管理者と協力して修繕業務を行います。 の開催に向けての施設整備を進めます。			
	目標年	度 平成30 年度					
	中長期的	的に取り組むべき 改善提案	老朽化した	施設が多く、修繕費がかさんでいるため施設の統廃合を検討していきます。			
	目標年	度 平成30 年度					

事務事業名	事務事業名 体育施設指定管理事業 事								事業コード	10060300106		
所管部署	生涯学習スポーツ課電						話 50-3163		記入者名	杉田 和也		
事業対象	社会	≩体育旅	設及	び施設利用]者							
40.4.51	基本構想 ┃ 生涯を通じて学び・育つまちづくり					IJ			事業区分	自治事務(任意的なもの)		
総合計画	基本	基本計画 スポーツ・レクリエーションの							事業種別	指定管理者事業		
実施主体	指定	と管理者	管理者 実施手段 業務の全部を委託 委託内容 ^{施設の運}					施設の運営	営及び維持管理			
根拠法令	有 地方自治法第244条の2第3項											
根拠例規	有	坂井市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例及び同施行規則										
関連計画・ マニュアル	有	指定管理	者モニク	タリングマニュア	7)\							

指定管理者制度の導入により、民間のノウハウを活かした施設の管理運営を指定管理者に委託し、体育施設の適切な維持管理と利用促進を図ります。また、自主事業を開催し、市民のスポーツ活動を促進します。

市内43の体育施設の内、三国運動公園屋内温水プール、丸岡フィットネスセンター及び丸岡B&G海洋センターの3施設については、アクアスポーツ株式会社、残りの40施設については、公益財団法人坂井市体育協会が三国体育館、丸岡体育館、春江体育館、坂井体育館を拠点として施設の管理運営を行います。また、指定管理者は、モニタリングマニュアルに基づいたモニタリング等を実施します。

〇委託料(指定管理者委託料) 210,300千円 ・坂井市屋内温水ブール・フィットネスセンター ・坂井市体育施設 121,800千円 ・坂井市体育施設(丸岡自治区) 50,500千円

38,000千円

目的

予算	Ī	款	教育費				項	保健体育	費		目	体育施設	施設費							
				平成25年度		平成25年度		平成25年度		平成25年度		平成	24年度	平成23年度		Ę	平成22年度			
		報西	H			Ŧ	ŋ		千円			千円			千円					
		委討	£費			210, 300 ∓	7		214,800 千円			千円			千円					
	事業費	需月	用費			Ŧ	ŋ		千円			千円			千円					
コ	費	役剂	务費			Ŧ	9		千円			千円			千円					
ス		その	D他			Ŧ	9		千円			千円			千円					
۲		事業	美費合計			210, 300 ∓	ŋ		214, 800 千円			千円			千円	1.				
	人	正職	戦員	C). 31 人	2, 204 ∓	ŋ	0.98 人	6, 967 ∓⊞	人		千円	人		千円					
	件	臨時	寺職員	C). 00 人	Ŧ	ŋ	0.00 人	千円	人		千円	人		千円					
	費	人作	‡費合計	C). 31 人	2, 204 ∓	7	0.98 人	6,967 千円	人		千円	人		千円					
	総	事業費	Ì			212, 504 ∓	9		221, 767 千円			千円			千円					
		国県	是支出金			Ŧ	ŋ		千円			千円			千円					
	特	使用]料·手数料			Ŧ	ŋ		千円	千円					千円					
事業費	特定財源	分担	金·負担金	Ŧ		7		千円	千円					千円						
来 書	源	地方	请			千	7		千円			千円			千円					
~		その	D他			2, 213 ∓	7		2, 400 千円			千円			千円					
	— f	投財源	Į.			210, 291 ∓	9		219, 367 千円			千円			千円					
	財	原合計	t			212, 504 ∓	7		221, 767 千円			千円		·	千円					

	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24	1年度	平成23年度		平成22年度	
成	指定管理体育施設利用者数		目標値	566, 450	達成率	559, 610	達成率	541, 392	達成率	635, 000	達成率
集		^	実績値	559, 888	98. 84	585, 273	104. 59	564, 029	104. 18	626, 917	98. 73
泛	指定管理者自主事業開催数	件	目標値	28	達成率	45	達成率	40	達成率	32	達成率
■ 動	i e		実績値	33	117. 86	47	104. 44	53	132.5	36	112. 5
活動	指定管理者委託料	+ H	目標値	210, 300	達成率	214, 800	達成率	216, 300	達成率	221, 600	達成率
	指定管理者委託料		実績値	210, 300	100	214, 800	100	216, 300	100	221, 260	99. 85
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【前	すぐにできる 改善提案	施設について、全体的に老朽化が進んでいるため、指定管理者と協力して施設の修繕業務を行います。 モニタリングマニュアルに基づき、指定管理者と連絡及び調整を密に行います。また、指定管理者の管理運営方法に問題があると認められる場合は、直ちに改善策を講じ るよう、指導・助言を行います。さらに、指定管理者の評価を行い、指定期間が満了となる施設については、指定管理者資定委員会を開催し、指定管理者の候補者の資定					
	目標年度 平成25 年度	を行います。					
:年度改善案に	取組状況	施設の老朽化に伴う修繕業務を次のとおり実施しました。 ①三国運動公園野球場防球ネット改修工事 ②三国運動公園テニス場人工芝改修工事 ③三国運動公園駐車場改修工事 ④丸岡運動公園駐車場改修工事 ⑤三国運動公園 子ども広境遊員改修工事 ⑤三国運動公園排水管更新工事 また、指定管理者による緊急修繕工事を次のとおり実施しました。 ①丸岡フィットネスセンター空調機即替T車 ②三国運動公園高圧ケーブル取替T車 ③丸岡R&G海洋センター造赤外線放射照尾機修繕T車					
対する	中長期的に取り組むべき 改善提案	施設について全体的に老朽化が進んでいるため、施設の統廃合について検討していきます。 また、福井国体に向けた施設整備を、福井県国体推進課および競技団体と調整し進めていきます。					
取組	目標年度 平成30 年度						
取組状況】	取組状況	福井国体に向けた施設整備として、丸岡スポーツランド多目的グラウンドを人工芝グラウンドに改修しました。 平成26年度には丸岡スポーツランドサッカー場を国体水準のものへと更新する予定です。 施設の統廃合については、引き続き検討していきます。					

		【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	妥 当 性	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A	
		【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	Α	
【担当者評価】		【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	
迪	効 率 性	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会 等)を導入することで、さらにコスト削減することができませんか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	С	
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか? (事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	有 効 性	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	В	
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	В	

		事業の方向性	±	改善して継続します。	目標年度	平成27	年度を目安		
	判理断由	指定管理者におい	て効率的な放	設の管理運営を行うとともにサービスの向上を図ります。					
		実施主体の方向	句性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安		
	判理断由	指定管理者により	、民間のノウ	アハウを活かした施設の管理運営を行っていきます。					
		コスト投入の方向	性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安		
所	判理断由	指定管理者により	、効率的なカ	設の管理運営を進めます。					
馬 長		人員投入の方向	句性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安		
【所属長評価】	判理 断由	現状を維持します	•						
	すぐに	められる場合は、直ちに	改善策を講じるよ						
	目標年	度 年度							
中長期的に取り組むべき 施設の老朽化に伴い、修繕費がかさんでいるため、施設の統廃合を検討します。 改善提案									
	目標年	度 平成30 年度							